京城日報

本紙定價 一部金參錢▲一箇月七十五錢▲前金三箇月二圓廿錢▲六箇月四圓五十錢▲一箇年八圓▲郵券代用二割增
廣告料金 [illegible]
發行兼編輯人 奥田道[illegible] 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 [illegible]

一月九日夕刊 (朝夕併せて八頁)

◇聯合國總會議
＝一月十八日以後開催か＝

佛紙の所報に據れば講和會議の日程が各國間に一致を見たる上全聯合國の總會議は多分一月十八日以後に於て開催さる可く其際始めて各國全權委員の顏觸も決定す可し日本の全權委員は英佛伊米の四强國と同じく五名なりと傳へらる(巴里電報)

◇講和取極協定
ウィルソン氏對伊太利政府

巴里來電＝米國大統領ウィルソン氏と伊太利政府とは講和取極めに關し重要なる諸點に就き完全なる協定を得たりと(桑港電報)

◇英外相訪佛用向

英外相バルフォア氏の巴里訪問は過激派に對する聯合國の態度決定の爲めなりと傳へらる(巴里電報)

◇國際問題一轉機
リウオフ公の齎せる報道

西伯利極東より米國を經て倫敦巴里を訪へるリウオフ公の齎せる西伯利及び露國問題に關する報道は公の地位に鑑み深刻なる印象を與へ西伯利問題に一轉機を劃す可しと觀察せらる然るに此機に際し西伯利出征の日本軍隊の一部撤退は露國の改造に對し多大の希望を繫ぎつゝある佛國の深く遺憾とするところなりと報ぜらる(東京特電)

◇コセ兩將軍融和

オムスク政府獨裁官コルチャツク將軍は目下病氣の爲め引籠り中なるがセミヨノフ將軍との確執は日、英、佛三國領事の斡旋にて漸く融和し結局セミヨノフ將軍の免官命令を取消しコルチャツク將軍の獨裁官たるを認めて落着す可しと(哈爾賓電報)

◇佛對露憎惡惹起

巴里來電＝在ペトログラード佛國商業會議所會頭リエルダールス氏の莫斯科に於て牢死したることは佛國に於て露西亞に對する憎惡心を惹起せしめたり(東京特電)

◇獨逸軍波軍擊退

伯林來電＝獨逸軍は優秀なる砲擊力に依りエルザ、ナツケルの兩地にて波蘭侵入軍を擊退せり(桑港電報)

◇米國民ル氏追悼

華盛頓來電＝ルーズベルト氏の訃報は華盛頓全市を落涙せしめたり、大統領官邸及び國會議事堂並に總ての公共建物は半旗を掲げて弔意を表せり、上院は弔意を表するの件に就きて決議し弔悼委員を命じたる後直ちに休會したり海軍卿ダニエル氏及びマーチ將軍は各兵營軍港軍艦をして半旗を掲げしめ大統領もル氏の訃報到ると共に閉廷して弔意を表せり要するにル氏の崇高なる品性及び大事業に對しては政友も政敵も等しく賞讃し殊に氏が絶大なる勇氣と愛國心とを以て米國をして大戰に參加せしめたる功績に對して米國民は多大の感謝を表し居れり(東京特電)

◇支那衆議院開會

衆議院は七日午後開會出席議員二百八十一名錢內閣員同意案は二百六十票の多數にて通過せり又參議院は九日同樣の投票を爲す可し(北京特電)

◇和平會議地商議

谷鍾秀、[illegible]氏等は六日唐紹儀氏を訪ひ和平會議地問題其他に就き商議せるが唐氏は上海說を持して動かず又南方代表の件は些の進捗を見ず(上海特電)

◇沿海州漁區入札

露領沿海州漁區入札は三月十日施行の筈なるが漁區貸付條件は契約違反に對する科料露貨爲替相場に準じ五倍に增加し且つ本邦漁業者の希望に關し鮭鱒漁區の地域を一倍半に增加したる外何等變化無し尙漁區表は數日中に發表さるべし(東京特電)

◇蘭貢米解禁眞否
多分解禁か＝內容果して如何

農商務當局談＝蘭貢米解禁の旨數箇所に入電ありたる由なるが政府當局には未だ右に關する報達せざるも多分解禁を見たるに非ずやと思はる其內容は輸出全般の解除なるか輸出特許の制度を設けらるゝか不明なるも近日情報來らば判明すべし蘭貢米は曩に印度政廳に於て管理所を設置して是が管理し且つ稻幹半島方面の需要に應じつゝありたる事情もあれば輸出特許を爲すことに就ては我國其他各國に對して輸出數量の振當てを爲すべき模樣あり而して本邦に於ても特許を得る場合を豫想して蘭貢米買付商談中なれば既に其分も相當の額に上りたるべきも商機に關するを以て數量等は不明なり次に西貢米も輸出特許を爲すことゝなれる旨農商務當局に公電あるも其內容程度は近日到着すべき報告書に依り詳細判明すべし又東京米の輸出特許に就ては疑義の點に就き目下照會中なれば是亦近く判明すべし(東京特電)

◇植民地豫算
十日の閣議にて決定

植民地豫算は七日の閣議にて決定すべき筈なりしも其運びに至らず十日の閣議にて決定すべく同時に古賀拓殖局長官の說明を附し發表せらる可し(東京特電)

◇山縣公入京

山縣公は八日午後一時入京せり(東京特電)

◇松村中將薨去

帝國海軍最初の留學生として海軍に功勞鮮からざりし海軍中將(退役)男爵松村淳藏氏は七日夜八時薨去せり享年七十八歲(東京特電)

◇馬屋原彰氏

錦鷄間祗候貴族院議員馬屋原彰氏は八日午前三時薨去せり(東京特電)

◇佛國飛行將校

上海來電＝日本來航の途に在る佛國飛行將校一行六十餘名は九日上海着の豫定なり(東京特電)

◇山內書記官赴任

新任北京公使館書記官山內前長春領事は八日正午赴任せり(長春特電)

◎昌德宮午餐會

李王殿下は長谷川總督、宇都宮司令官、高島第十九師團長、村田、東條兩武官其他を九日午後零時三十分昌德宮內植物園本館に招待し新年午餐會を催されたり

◎政務總監引籠

山縣政務總監は鄉里より歸城後微恙にて引籠り中なり

◎勳章傳達式

九日午前十時總督府總督室に於て勳章傳達式を擧行し曩に敍勳せられたる村田陸軍少將に對し勳三等瑞寶章の傳達ありたり

◎內地連絡滯貨

朝鮮線に於ける內地行連絡貨物の滯貨數量に付一月五日現在の調查を聞くに左の如く約九千噸にて其の區分を擧ぐれば

本州線米原以東行 一、八九八噸
本州線彥根以西行 四、三九二
九州線及下の關行 二、八二五

而して右の一掃期は米原以東行き今後二十三日以內に彥根以西行き同二十三日九州線及び下の關行き同三十二日の豫定なりと

◎輕鐵運輸開始

朝鮮輕便鐵道西岳浦項間二十二哩一分西岳慶州間一哩二分は舊臘二十八日附運輸開始の認可ありたり

◎蘭貢米解禁奈何
莫大の輸出餘力＝米價の前途

財界は戰後の反動期に入らんとし諸物價大勢低落の機運にあるに拘らず米價の單り硬調を保ち却つて▲昇騰の狀勢を呈せるは收穫遲延農家賣惜しみその他諸種の原因を算し得べきが結局は昨秋內地に於ける實收減並に古米殘存の少量より本年の供給不足を見越されしにあり乃ち米價の調節は不足米の輸入補塡を第一義に置くべく而してその不足米は先づ鮮米臺米の輸入餘力を算發に入れ更に外國米に俟たざるべからず然るに外米の產地たる蘭貢、サイゴン、東京、並に支那の各地は自國食料の調節上外國輸出を禁止し居れるためその輸入を容易に望み難しとの推測は米穀供給の前途を益々悲觀されしが八日に至り本社東京特電は蘭貢米の解禁されし旨を報じ更に京城某々商事會社支店にも▲解禁見込みありとの入電あり八日の電報は別項の如く更に具體的にその間の消息を傳へ來れり右に付某有力者の談を聞くに思ふに支那米を除けば蘭貢米はサイゴン東京二地に比し數倍若くば十數倍の輸出餘力を有し居れり乃ち蘭貢米平年の輸出餘力は約一千九百八十萬石の多量に上り居れるなり然し乍ら本年の同方面の米作は良好と云ふを得ず從つてその輸出餘力も約一千四五百萬石との見當を附せられ居る譯なるも若し東京商人が巨額の買附をなし之が輸入を行ふ事となれば米價の調節上少からざる効果あるべし唯八日並に九日前場に於ける內地期米の氣配は▲保合を持續し居れるより見れば蘭貢米の解禁は見込みにして未だ確定と云ふを得ざるに非ざるか又解放的の解禁に非ずして特許的のものならざるか然し乍ら政府にても米價調節には相當努力し國內の輿論亦大に昂り居れるに付相當强硬に解禁交涉を行ひつゝあるべしと信ずべき理由もあり恐らく近く相當量の輸入を見る事は事實ならん更に目下外米の値頃は橫濱神戶上げ一石三十一圓五十錢より三圓の間にて之れを小賣りに附して三十五圓となるべきが然も內地米の四十七八圓に比すれば十三圓の開きあり國民又昨夏外米を嫌忌せし當時と異なりその需要は▲大に增進しつゝあるに付茲に新に二三百萬石の蘭貢米輸入確實となれば米價は相當に下押すものと觀測して不可なからん

◎京城通關貿易

十二月に於ける京城通關貿易は輸移出七十三萬七千八百圓輸移入百三十五萬九千圓にして輸移出入重要品は左の如し

▲輸移出重要品

	圓		圓
米	四〇、四九九	牛皮	八三、五六三
大豆	五二、八一三	鮮草	二三、四五〇
重石	七五、四〇〇	雜品	七二、〇六三

▲輸移入重要品

粟	五八、三一七	石油	一四、六二八
麥粉	四六、七五〇	繰綿	一八、二二四
果實	五四、二二六	綿織糸	七六、一三四
砂糖	四〇、八一七	生金巾(シーチング)	元九、三〇六
淸酒	八〇、八五六	晒金巾(シャーチング)	四八、四四八
日本木綿	三二、一八五	諸器械	四一、九二六
毛絲	六二、八六八	煙草	三八、三六〇
洋紙	一八、九三一	生皮	三八、三三九
文具	三六、一二一	小包	六五一、三〇一

◎釜山電燈改善
遞信當局談

釜山に於ける朝鮮瓦電會社の電燈設備は故障續出甚だしく不良に付其の改善を促す市民の聲低からず當局にても根本的に何等か方法を講ぜしむる必要ありとし最近成田技師釜山に下向數日に亘り各種の調査を繼續せしが右の結果某當局は曰く釜山の電燈は設備機械共に多く改善の餘地あり今日何故に故障の頻出を見るやと云ふに多年機械に故障を生ぜし場合殆んど根本的の施設を講ぜず常に彌縫又彌縫の所謂對症療法をのみ續け外科的切開をなさゞりしに坐す然もその彌縫の累なりは遂に拾收し難き機械の不良を來せり思ふに此際釜山電燈の改善は根本的に相當の費用を惜しまず完成せる器械を据ゑ付け更に適當の技師を傭聘するにあり此點に就て當局にても權限の範圍に於て適切の方法に出づる考へなり尙ほ同地の電燈は目下料金の値上許可を申請し居れるが今日の如く故障百出しては値上の實行を市民に於て容易に承認せざるべしさりとて同會社設備の大改善を行ふには相當率の引上げは必要なるべきか然らば如何に決定すべきかは尙明言の時期には至らず

◎仁川期米保合

仁川期米九日前場は當三十三圓七十錢中限卅三圓より三十三圓八錢先限卅四圓五十二錢と保合なりき

◎豫後備兵の歸還
鮮鐵の旅客列車に影響なし

西伯利に出征せる第三師團豫後備兵の大部分は舊臘陸軍當局の發表せる如く愈々內地に引揚ぐる事となりしがその輸送は朝鮮鐵道に於て來る二十四日より二月十四日に至る約三週間の豫定なり

▲鐵道當局談 右に付鐵道當局は曰く歸還軍隊の輸送開始近きに付目下その準備手配りを行ひつゝあり然し乍ら今回の輸送は兵數に於てさまで多からず旁目下の所全線の旅客列車には影響を及ぼさゞるつもりなり唯貨物列車は多少減少の餘儀なき點あり從つて貨物の輸送力は相當減少すべし尙ほ輸送期間は約三週間の豫定なれど東淸鐵道輸送力の早晚精確ならず從つてその兵數並に期間等は豫期と若干の相違を來すべしと思はるゝが然も長春奉天等にて相當調節の方法を講ずる事となり居れるに付その終了も豫定の二月十四日を遲るゝ事は先づあらざるべしと思はる

◎植民地と言論機關(三)
元中樞院書記官長 中外新論社社長 小松綠

言論の自由を適當に制限するのは必要缺く可らざることで米國の如き自由國に行つても或る程度まで言論の自由は制限される。しかし壓迫に至つては單に當局者に不利益であるとかいふことで當局者の偏見を以て言論を抑制するのであれば一種の惡政と言はなければならぬ。夫から危險思想もこれは▲匡正し善導すべきもので、ペストや虎列剌のやうに撲滅し得るものに非ず、といふのは壓迫を加へまた撲滅を强行するといふことは單にその目的を遂げ得ざるのみならず往々反對の結果を來すことが多い。恰も惡性の腫物を癒すやうなもので是れを根治するの方法を講ぜずに單に顏に出來たものを局部だけ癒すと內攻して或は肺臟、心臟を冒すと同じく危險思想もそこで是れを撲滅する手段のみとすれば國家の何れの部分かに害を爲す、詰まり危險思想に顚した考へを持つて言論に對してよくこれを敎へ導く方法をとらざればこそ益々腐敗することゝなり▲國家が意外の禍を蒙る患ひがある。此の點は一般社會の識者の注意すべき事で單に政府者を責むると言ふことが出來ないことである。現に危險思想と言はれてゐるものが何なりやと言へば生半可通の社會主義、或は共和思想共和政治などを喋々するものを一般に言はれてゐるやうだが是は敎育が完全で無いといふことに過ぎないので、社會主義の本領は個人の放縱を禁ぎ、社會が公共事業を個人に代りて實行するといふに歸着する。例へば貴、賤、尊卑の如きは是れ貴居や醜居が不當の利益を個人的に壟斷するのを防いで國家が國民▲全體の利益を計る趣意に他ならぬ。鐵道の如きも私立會社が利益を壟斷して隨意に賃率を定むる壟斷を防がんために國有になつたので決して政府が個人の營業を奪つて營利事業を經營するのではない。米國の如きも遂に今日に至つて鐵道國有を斷行した。また勞働者の保護も社會主義の一種であるが、專制政治の權化と言はれたビスマークも社會主義者の首領ラザレの言ふことを用ゐて勞働者の死傷者病人或は老衰者を保護する目的で勞働保險法を新設したなどは國家社會主義と言はれてゐる位で日本でも社會政策の名の下に勞働者の保護や▲國營事業を行つてゐる如何に日本人が幼稚でも露西亞のレニンやトロツキーのやうな共產主義を唱へるといふ惡物はないので斯かる惡論を唱へても一般公衆を欺くに足らんのは明かである。(東京支局)

◎漢銀今期成績

漢城銀行の今期成績を聞くに預金七百十八萬七千三百八圓七十二錢にして前期に對比し二百八萬二千五百四十五圓十二錢即ち約四割を增加し貸出は七百十七萬三千三百九十五圓五十二錢にして前同期に對比し百八十五萬三百五十八圓九十錢即ち三割五分を增進し純益十萬六千四百十六圓四十三錢を擧げ前期より三萬百一圓四十五錢即ち約四割三分强の增進を示したり尙ほ同行定時株主總會は來る十五日本店樓上に於て開催の由なるが今期株主配當は年八分の豫定なりと

◎京電定時總會期

京城電氣の今期定時株主總會は來る二十九日午前十時東京麴町有樂町生命保險協會內に於て開會に決定せるが今期總勘定は出張所報告未着等ありて明かならざるも成績は前期と略大差なかるべく配當一割なるべし

海洋の將來と軍國主義
在東京 吐峰生

◇米國大統領ウィルソン氏の英國訪問は、大體好結果を齎したるものゝ如く、倫敦電報は頻りにロイド、ジョージ、ウィルソン兩氏の意見一致したるを傳へ候

◇然れども冷靜に觀察せば、此の種報道の反面には即ち兩氏の主張の衝突不一致を暗示するものあり、意見の合致とは畢竟姑息不徹底の妥協策に外ならざるべく候。英米兩國は競爭の姿勢を示すに於て、世界の將來は頗る興味ある譯に候

◇富者、富者と結束し、强者、强者と妥協せば、貧者、弱者は永久に浮ぶ瀨無かるべし。英國が世界第一の海軍を擁し、米國亦世界最大の海軍國を夢想するが故に、『海洋の將來』が興味を加ふるなれ。橫綱は一人なるべからず、東西双方に在りて初めて天下の人心を集中するものに候

◇聯合軍はよく『獨逸の軍國主義』と云ふ、然れども軍國主義果して惡むべくんば、獨逸の軍國主義たると、他の國の軍國主義たるとを問はざる也。若し陸上の軍國主義が正義人道に害あらば、海上の軍國主義亦正義人道の仇敵にあらずや。然るに英米の政治家互に自國の海軍を激賞して益々之れが擴張を明せんとす、果然正義人道は世界の正義人道にあらずして自國本位の正義人道に候

◇故に這次の大戰亦然り、之を以て正義人道の義戰と做し、軍國主義の膺懲に在りと做すが如きは博愛慈善の爲めに泥棒を爲せりと云ふに異ならず。英米兩國が世界大戰の結末を勝手に取捌かんとして、却つて云ふべからざる矛盾醜態を暴露せるは、笑止千萬に候

◇世界は獨逸の世界にあらざると同時に、アングロサキソンの世界にもあらざる也。記者は獨逸の侵略主義を惡むと同樣同一の程度に於て英米の資本主義、經濟帝國主義を警戒せざる能はず、日本の參戰は、一二强國をして專恣橫暴せしめんが爲めに、蹶起したるものには之れ無く候。讀者は西歐の裏を讀破し、先づ歐米政治家の我儘なる言ひ分に目醒むるを要す(一月四日)

◎三好氏賑宴

三好和三郎氏は朝鮮土地經營株式會社設立に就て奔走中なりしが舊臘廿日附を以て其筋より認可の指令を交附せられたるを以て最初より設立に助力せるもの卅餘名を七日午後六時花月に招待し設立認可の發表をなし從來の勞に酬ゆる意味にて開宴せり

人事

▲鐵柱明氏(陸軍少尉) 九日午後總督府を訪問十七日出發東上の豫定
▲大町桂月氏 九日朝來城
▲山川朝重兵中佐 八日午後新義州へ
▲四元赫平次氏(淸津商業會議所會頭) 七日入城
▲岡本富次郎氏(北鮮日報社長) 同上
▲原田朝郵社長 過般來旅行中の處一時は重患とも傳へられしが此程全快七日より出勤せり
▲松崎時勉氏(朝郵專務) 過般來東上中の處十五日歸城の豫定

八面鋒

◆講和會議に於て、最も議論の沸騰すべしと察せられたるは、海洋の自由と、國際聯盟の二問題にして、兩案共ウィルソン氏が最初よりの提議に係り、同氏が腕にかけても成功を見ざるべからざるの問題たりし也。

◆海洋の自由に對しては、殊に英國に於ては重大問題にして、曾て千九百十六年のウィルソン氏の通牒に對し、英國が反感を惹起せしも、本問題に關する處尠からざりし也。

◆這般ウィルソン氏が海洋の自由に就て讓步せしを以て、聯合國も亦國際聯盟を承認すべしと傳へらる、ウ氏は遂に海洋問題を犧牲として、國際聯盟に成功せんとするか。之れを要するにウ氏とロイドジョーヂ氏の意志の疏通と見て可ならんも、國際聯盟に關して、クレマンソー氏果して如何の態度を取るか。同氏にして亦承認を與ふることゝせば、期待されたる講和會議も、著しく簡短なるものと爲るべし。

◆我特使牧野男が、米國に於て聲明せる、日本の對外政策、即ち平和と門戶開放の二大主張は、日本帝國の意思を發表告白せるものとして、頗る好感を買へりと。本主張は必ずしも男の新發明に非ず、寧ろ我傳統的の方針なりと云ふを適當とすべし。而も其聲明が今更の如く歡迎せらるゝに至れるは、要するに大戰に對する國家の努力と云ふを得べし。然れども凡に似て凡ならざる男の此聲明が、今日此の際徒爾ならざるを覺ゆ。

小鳥捕用 カスミ網
(極上絹糸製)◎其他雁鴨兎網無雙網等種々あり
高さ六尺 三尺二棚 橫巾三間 一圓半
高さ六尺三尺三棚 橫巾五間 四圓
京城永樂町二丁目 吉備商會 電話二二一四番 振替京城三三八番

朝鮮學術研究會編
中學校 商業學校 高等女學校 高等普通學校 師範學校
入學試驗問題答案集
大正七年度 四六版二百頁 ◆定價金五十錢 送料四錢
入學の榮を得たき學生諸氏は至急本書を座右に備へられよ
發行所 京城本町 振替三三三 ウツボヤ書店
賣元 京城太平通 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋▲岩松堂▼

酸素透熱療器
富士醫學士考案の本器(原名オキシデアテルミー)は血液の循環を良好にし生理機能を活潑ならしめて自由に空氣中の酸素を人體に攝取せしめ自然療能を盛にして迅速に疾病を治癒せしむる所に偉大の効力を有す然も其効力の永久不變にして使用法の簡便なるは家庭用並に醫家用として現代治療器の寶庫たらん
▼定價 家庭用金十五圓 醫家用金卅二圓
東京市神田區表神保町拾番地(一ツ橋大通り) 合資會社 オキシデアテルミー商會

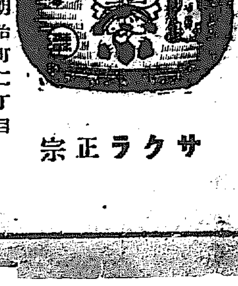
洋燈類各種 電氣瓦斯用品 船燈用器 理化學用硝子器 標本瓶各種 各色硝子 食器類一式
京城林町百六(十二番地) 電話一七九一番 小野玻璃器製造所
京城黃金町一丁目 電話二三四三番 小野玻璃器專門分工場
京城永樂町二丁目 電話一八七九番 小野玻璃器販賣部

國末式ベント金庫

進步せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる……
國末式ベント金庫は
人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と頑强物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ベント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所 國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東一九九〇三
△寫眞入商品目錄は御報次第進呈仕候

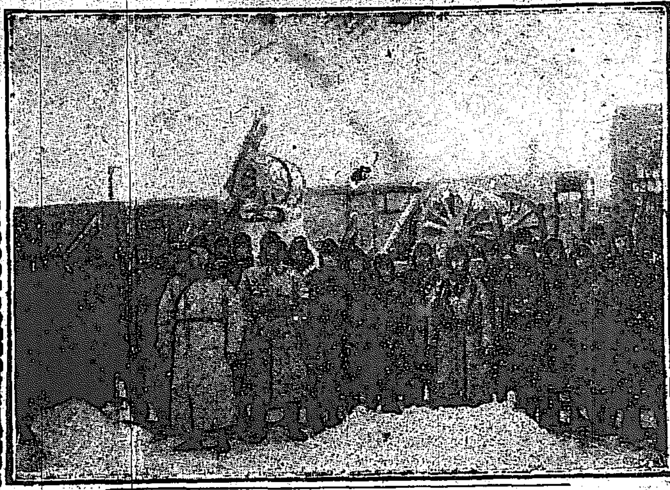
皮より强い 柳製專賣トランク
鞄製造販賣
御注文により如何樣にも調製可仕候
魔法瓶及中瓶取替
京城本町一丁目 高木旅行用具店 電話二四五番

宮內省御用達



兵庫縣灘魚崎 山邑太左衞門醸造
サクラ正宗
櫻正宗櫻魂發賣元 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話長八四九番 一四五四番 振替貯金口座京城七五四番

大正七年七月一日改正現行



◇ウファ市の佛蘭西軍

ウファ市はウラル山脈の西ボルガ支流のカマ河から更に上流のベーラヤ河の岸にある河の流れは鳥渡朝鮮の鴨緑江位のもので橋臺が高いから汽船は自由に下を通る、チェリヤビンスクからウラルを越ねて行けば我が百十二里程、西伯利から歐露に入つて先づ第一番目の都會である、驛には昨今佛蘭西の國旗がこの入口にも飾られてある、プラツトフオームにはまた列車生活の佛蘭西軍が逍遥して居る何れもピション中佐の部下である、寫眞はウファの西南方サマラ線に出た佛兵が今し列車に歸り着いたところで一同毛皮帽子の防寒具に身を固め鬚に氷柱を下つゝ『マルセーユズ』を高唱した光景である列車の上は飛行機射擊砲（十一月二十九日金谷從軍記者）

戰地の正月
一人前一斗の餅
雪の曠野に萬歳を高唱
同情に堪へぬ兵站部の苦心

夫に酒、數の子ごまめ、蜜柑まで貰つて子供のやうにニコ／＼しながら

西伯利出征軍のお正月は東浦鹽からをうけた、それを各自にニコ／＼しながら受取る時の光景は幼稚園ら西はバイカル湖畔まで新年のお雜煮が芽出度く祝はれた、イルクツクでは初春の飛行ごして兵士の芝居もあり新年祝賀會もあつたその他第三師團司令部所在地のチタを始め第七師團の滿洲里、第十二師團のハバロフスク等何れもそのまゝの無邪氣さであつた、その他西伯利で

零下三四十度

の寒空に勇ましい日章旗を掲げて何れも　大元帥陛下ミ大日本帝國の萬歳を高唱したのであつた、西伯利出征軍の中には逐次內地へ凱旋の途中汽車、汽船中のお正月を迎へた者も尠くないが居殘りの面々は何れも厚毛の防寒服に山賊のやうな靴穿いて、『ヤア!!!お芽出度う／＼!!!』は滑稽であつた、軍旅のお正月は浦鹽はじめ黑龍、後貝加爾の山奧まで漏れなくお酒ミ餅が配られた、中には西伯利で餅が食へようごは思はなかつたミニコ／＼してゐる兵士もあつた、それが

皆熊のお親類

のやうな髯ツ面で小學校生徒のやうな無邪氣さご來てゐるから罪がない、このごろ守備の餘暇には何處も猛烈な練兵をやつてゐるが將校も兵士も只もう子供のやうに食ふとばかりが問題である、お正月の獻立は各地各樣で奇想天外のものもあるが軍隊から分配されたものは兵士一人に就き糯米一斗、小豆一合、數の子十匁、ごまめ十匁、鰯十五匁、削り鰹五匁、鮭十五匁、牛蒡十五匁、乾人蔘六十五匁、砂糖五匁の給與の他西伯利で

珍らしい蜜柑 が一人に六顆宛て

林檎が一人に三個あて渡り『お前のが旨きぞ』『俺のは小さい!!!』で大騷ぎであつた、序に記したいことは芽出度いお正月を迎へさする爲めの兵站部の困苦である。北滿及び後貝加爾方面の給與は遼陽衞戍病院附の三好二等主計が貨車三十輛に積載して十一月末に長春を出發したが最終地點のバイカル湖畔には十二月廿三日に著いた、それでも目下の輸送困難な西伯利亞ミしては此の貨物列車は大成功であつた、主計はお正月前に間に合はねば

割腹して申譯

するミ云つてゐたさうだが僅か一箇月以內で安著したのは主計の不眠不休の大努力ミ天佑によるものミ言はれてゐる…とほごこ左樣に目下の輸送は困難である、原因は戰亂の爲め貨車がない、汽罐車がない、盜賊にかゝる、車輛が燒ける等故障百出の狀態である、現に角西伯利亞の輸送の困難に打ち克て一同芽出度きお正月を迎へたのは萬々歳である（金谷從軍記者）

◎故ルーズベルト氏の死因は僂麻窒斯
全米國半旗を揭ぐ
葬儀は八日盛大に執行

既報米國前大統領テオドル、ルーズベルト氏は炎症性リウマチスの爲めすこころなり六日午前四時オイスターベーの邸にて臥床中眠るが如く逝去せり計報に接せる上下兩院は滿場一致を以て弔意を表する事を決議し直ちに休會せり、尙陸海軍の兵營軍艦官公衙は總て半旗を揭げて弔意を表せり葬儀は八日正午盛大に執行さる（紐育特電）

◇詠進歌は締切後
到著の分をも御前に捧呈

來る十八日宮中に於て御開會の新年歌御會始の詠歌數は既に三萬餘通以上に及びしも其中進武並に締切後到著の分を控除せば約二萬六七千通ご爲るべく右は目下御歌所に於て製本師に命じ裝飾中なるが來る十四五日頃所長、寄人、參候衆の總會を開き夫々所定をなす筈なり締切後到著の分ご雖も國民が至誠を籠めたる詠歌なればミて御歌所にては之をも裝幀し一帶に御前に捧呈する由

◎平壤年賀郵便

昨年よりは引受[illegible]共に二十[illegible]

十八通到著數五十萬四千〇〇四通郵便の增加は人口の增加ご共に[illegible]に達し之を昨年に比するに何れも[illegible]面我事業の發展を表示する一[illegible]

[illegible]二十萬通を超過し居り而も右は[illegible]なりご云ふべし

[illegible]にて見積り反別一萬二千三百七八十九反歩も多く成川郡の三千六十八反計一萬六千七百三十九反に百六反之に匹[illegible]四反歩少[illegible]

仁川期米

▲九日後場　大阪堂島米市場の[illegible]

後場當限出來不申
▲中限一圓三十二圓九十五錢二厘　九十二錢三厘九十五錢四厘三十三[illegible]
十九錢四十錢一錢二錢四十錢三十[illegible]　九錢八錢四十錢三十九錢三十四[illegible]

仁川米豆取引所

九日の三月限　[illegible]

少雪後曇

激しい稽古
火の出る樣な
◎場所を控へて

常の花大潮の元氣　春場所が近づいた昨今は何處の部屋を見ても番附の噺で切り各稽古場ごも力士の力瘤が隆々してゐる出羽海部屋は門口に客止の張札が揭示される盛況である常ノ花が現はれて櫸迎ヶ嶽に挑む常得意の右差ごなり元氣に任せて唯一氣に仆さんご

▲**血氣に逸** つて打ちやられた次に福柳が現はれて激しく突合ひ右四つごなつて福の上手投を常殘して懸命に寄るを福必死に堪へて廻り込まんごせる時遂に腰碎けて常の勝代つて大門岩が右四つごなつて互に寄合ひ遂に常ノ花の勝次に宇都宮を右四つで吊出し逵ノ矢を相に、九州を右四つで內かけに靡れ込むご

▲**栃木が現** れて猛烈に突合ひ左四つごなつた常は勝手惡く思ひ右四つに捲變へんごする其の處を透さず栃木二本差ごなつて猛進する程に流石の常も追詰めら れ辛く殘して廻り込むを栃木の追擊激しく今は之れまでごばかりに捨身半分に打つた首投美事成功して常の花は『斯んなもんだ』ご

▲**啖呵を切** つた御西山が必死に迫つたがこれまた常の勝ごなつたので對馬洋が向つて見たがこれも苦もなく押し切られて仕舞うた栃木が再び出てサア來いご仕切つた時常の體は濡なす汗の雫で土俵は泥の海になるかご思ふ程であつたが此處に力盡きて遂に栃木に押し切られた

▲**鳳部屋は** 大潮が若葉山を苦もなく平げ大戶平を二番ごも退けたので千葉ヶ崎が飛び出して猛烈に突立て右四つごなつて千葉より寄るを潮得意の足癖を以て敵の出足を脅かしイヤごミ腰の浮く處を得たりごばかりに下手投にて止めを刺す、次は左四つになつて潮右手に前褌を引き寄るご見せて敗しておいて必死に踏み込み

▲**二番ごも** 潮の勝に陥る　來るを引落してしたので代つて三杉磯を三番ごも平げ矢筈、清瀨をも物の美事に打破つた

◇東伏見宮へ
李王御親電

依仁親王殿下御歸朝に際し李王殿下は『御歸朝を祝す』旨御親電を發せられたるに對し九日朝依仁親王殿下より『御祝電を拜謝す』との御返電李王家に到著せり

◎王妃新年宴
八日東行閣にて

李王妃殿下に於かせられては恒例により八日午後零時卅分より李堈公妃殿下を始め閔長官國分次官各夫人外貴顯名士夫人七十九名を昌德宮仁政殿東行閣に招待せられ劇曉たる奏樂の裡に盛大なる新年宴會を催され同二時半閉會せられたるが李王妃殿下には御機嫌殊の外麗しかりし

□御婚儀參列者
御親戚、貴族總代決定

來る廿五日假宮ヶ國離宮に於て御擧行相成るべき李王世子垠殿下ミ梨本宮方子女王殿下の御婚儀に際し御親戚及び貴族總代ミして左記の諸氏列席する事に決定し一行は十三四日頃京城出發東上の豫定なり

侯爵尹澤榮　伯爵李完用　子爵宋秉畯　男爵李允用　同　趙東潤
閔泳瓚　嚴柱益　[illegible]　韓相龍

▽獻上品
御調度と共に全部出來

後て李王家美術製作所に於て謹製中なりし各宮家への獻上品及び御婚儀御調度は此程全部調製濟みごなりたるを以て近く十五の櫃に納め御婚儀參列の爲め東上すべき貴族一行ミ共に上田同所販賣主任携帶東上すべしミ

▼太刀山斷髮式
來る二十六日に行ふ

昨年引退した太刀山の斷髮式は來る二十六日午後自宅にて擧行する事になつた、當日は西鄕從德侯も列席して剃刀は坂垣伯が執る筈である

◎新潟市長收監

新潟市長櫻井市作氏は積善組合疑獄事件にて收監されたり（東京特電）

寒稽古

▲**講道館支部**　講道館朝鮮支部に於ては來る一月十一日より向ふ二十日間每日午後六時半より八時半迄寒稽古を行ふ事ごなれるが十九日は同支部に於て盛大なる鏡開きを行ふ由

▲**京城乘馬會**　京城乘馬俱樂部にては來る十日より向ふ一箇月間每日早朝黃金町京城乘馬俱樂部馬場に於て寒稽古を行ふ由

◎可愛い子は山へ（三）
怖しかつた登山の思出
文學士　大町桂月氏談

何あに此山が始めの間は無茶苦茶に進んだ、漸くにして阿彌陀ヶ原ご云つて一里四方位の高原に出た、其片隅に名だけは不動堂だが小つぽけな堀つ立小舍があつて水を貢つて居る、其處へ著いたのが午後六時、是から三里進むご人の泊る設備をした所があるから

▽**今一奮發** 夫れ迄行つてやれご思つて又復登り始めた。所が初めての山ではあるし案內は無し頓ご道が捗取らない、時計を見れば七時半、遂は眞暗になる雨が降り出す、道に心細くなる、全く途方に暮た揚句遂に我を折つて退却するここにした、今迄來た道だから譯は無いだらうご思つてごん／＼降つて行くミドッコイ行き詰まる、引返す、暫くするミ又もや分らなくなる、其內に何處ごなく轉んで怪我をする、轉んだ拍子に

▽**時計を壞** したので九時の所で針は動かなくなる、痛いやら淋しいやら怖ろしいやら何うすることも出來ない、恐圖々々してゐて谷にでも落つこちては大變だご思つて蝙蝠傘を擴げて岩陰に蹲がんで見るが何だか不安で十分間ミ落著いて居られない、又步き出し、又蹲がみ、又步き出して居る間に運よく阿彌陀ヶ原へ出た。ご突然暗の中から『誰だ』ご呶鳴る聲がある、見るご其處に堀立小舍の

▽**不動堂が** あつた、漸く譯を話して茲へ泊めて貰つたのであるが、私は此經驗に懲りて夫れ以來登山するに當つては必ず路を考へて行く／＼路傍の木の枝を折るごか、木の皮を剝いで置くごか、或ひは又樹木の無い所では石ころを積むかして目印を拵へて置くのである、尙ほ非常に草木の密生してゐる所では是を折り伏せ又は伐り開きつゝ進むご頗る難儀ではあるが自然ご退路の目印が出來る譯である『木を伐りて道を開きて行く山の七八丁に小半日かな』其處で世間の

朝鮮服を著た桂月氏

▽**事情を考へ** て見ること自分の思ふ通りに許り行かぬここも隨分ある、一度退いて更に進まなければならぬここがあるものだ、世の中に立つても矢張り自分の辿つた路に跡を殘して退却の場合の用意もして置かなくてはならぬ、其目印ミは何であるか、曰く誠心誠意を以て人に接し仕事に從ふここである、後めたくない行爲さへして置けば一時は人に誤解されても路は再び開けて來るものである私は是が最も確實な

▽**賢い方法** だご信ずる即ち論語にある『居處恭、執事敬、與人忠、夷狄に之くご雖も棄つ可からざる也』此文句を腹に入れて置いたら間違ひなからうご思ふ。夫れから前にも述べた通り同じく山に登るならば眞個に徹底的にやるべしである、近年金剛山が有名になつた、私が先日彼の山へ行つて見たきけで生意氣なここを云ふ樣だが、若し諸子金剛山へ行くなら毘盧峰を始め內金剛外金剛略全部を見なくては話にならない。

◎四月上旬の陽氣
是から天氣になつて寒くなる

此の二三日來の暖氣は例年にない事で九日京城の最高氣温は華氏の約四十五度に昇り此外で五六日も此陽氣が續けば木の芽吹いて花の蕾を脹らむ樣な事になるだらうご思つて京城測候所を訪問した所が、所員は記者に左の如く語つた。

圖**今歲の元旦** より六日までの氣温は例年より六度乃至八度も寒かつたが折返して七日頃から徐々に暖かになつて八日朝京城では攝氏四度八に上り例年に比べれば十二度強も高温で九日朝は更に五度七に昇つて例年より十二度も暖かであつた其の暖かさは京城ごしては

圖**四月上旬頃** の朝の樣な陽氣で雨を帶びたる濕こりした模樣は恰度其頃の天氣に髣髴してゐる、此の原因は氣壓の配置によるもので寒かつた事は此間話したが其後六日頃より氣壓の配置が變りかけて高氣壓が南支那東海方面を占め大陸方面は寧ろ低氣壓部に屬ごなりたるため各地ごも穩風なく陰

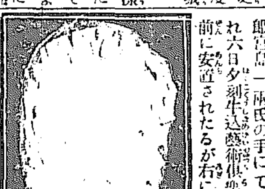
圖**生温き陽氣** ごなつたのである、所が八日夜頃から可成り深い低氣壓が黃海西部に現はれて七百六十二ミリメートルを示し又一方北滿にも副低氣壓が發生した爲に八日は所々微雨（乃至雪）を降らし八日朝は釜山に於て十一ミリメートル、平壤は二ミリメートルの降水量があつたが九日朝は此の低氣壓が未だ黃海南部にウロ／＼してゐたので南鮮方面は

圖**雨量多く** 釜山は五十粍、全州三十粍、木浦十八粍、江原道沿岸の江陵及び仁川は五粍、京城、元山は三ミリ內外其他の各地も多少の降雪があつた爲に京城では九日の最高溫度が七度二（華氏約四十五度）に達した譯であるが

圖**此の低氣壓** は急速に南日本海方面へ逸走する模樣であるご共に一方大陸方面には蒙古地方から來た高氣壓が七百七十ミリメートルを示し漸次擴張しかけてゐるので九日北滿地方の天候は次第に恢復するご共に朝鮮各地の天候も漸次快晴ごなり隨つて

圖**寒さが追々** 引締る樣になるだらうご思ふ、併し此の高氣壓は北滿洲に偏在して大陸に根據を固めたこいふ程でもないからう此間中の樣なインキが凍る程の酷寒は先づ來ないものご見て差支なからうご

須磨子の死面
素顏より愛嬌がある



自殺した須磨子の死面は朝倉文夫氏監督の下に門人相川善一郎、宮島一兩氏の手にて作製され六日夕刻牛込藝術俱樂部の靈前に安置されたるが右に就き製作者相川氏は語る『私達は婦人の死面を撮つたのは今度が初めてでした、死面は丁度二時間で出來上りました、私達に言はせるご須磨子さんの平常の素顏よりは死面の方が餘程愛嬌が浮き出て宜しいように思はれます』（東京）

◎釜山の初雷

八日の釜山は春のやうな暖かさで午後四時過ぎには殆んご六十度を示し釜山一面を覆うて居た霧は雨ごなり五時半頃には電光雷鳴凄じかつたが豐年の瑞兆だご喜んで居る

▲京城商議副會頭の釘本藤次郎氏は每年正月三ヶ日の天候を以て一年中の經濟界の前途を卜するミころで本年に於ける同氏の經濟豫報に曰く、元日は朝雨、終日晏天、夕方颪、之を案ずるに一月以後五月頃迄多少の波瀾あるも大變動なし▲二日は天氣晴朗、寒氣酷烈、之を案ずるに五六月以降九月頃迄の經濟界は緊縮し破產、整理兩方共に一段落を告げ物價一定すべし▲三日は寒氣酷烈、降雪、之を案ずるに九月以降の經濟界は堅實に發展すべし▲之を要するに本年の經濟界は急變なく大波瀾なく漸次良好の成績を擧ぐべく恰も羊の如く平和の結果を納むべしごいめでたし

◎金物組合新年宴

京城金物商組合にては八日午後七時より松葉館に於て新年宴會を開催し釘本會頭の挨拶に次いで宴に移り其他の餘興あり盛會裡に散會したるは九時半なりき

西伯利講演會

サモワール會主催
本社金谷記者の講演　來聽隨意

京城に於けるサモワール會にては十一日の土曜日午後二時半より日出小學校講堂に於いて開戰當初より浦鹽派遣軍從軍記者ミして出征し西伯利各地を跋涉し歸城せる本社特派從軍記者金谷巽氏を招聘し氏の西伯利視察講演會を開催する由なるが當日は會場を開放し會員以外の人ご雖も隨意聽講を歡迎すべく尙ほ珍稀なる西伯利の寫眞其他の參考品をも陳列すべしミ云へば定めて盛會なるべし

る人も多かつた（釜山）

◎母子で萬引

高陽郡崇仁面湧京里宿屋業崔代馬妻久保春計（三二）は同養子久保重吉（二二）ご共謀し去る二十九日京城本町平田商店の年末大賣り出の混雜に紛れて菓子盆外十數點を窃取せるを手始めに同卅一日も亦本町筋の商店七八戶より反物其他を萬引して信玄袋に納め同町を徘徊中警戒の巡查に捕へられ九日本町署より檢事局に送られたり

春場所大相撲懸賞

東京大相撲春場所は十日より開場に付き好取組十番を選び勝負豫想を懸賞す

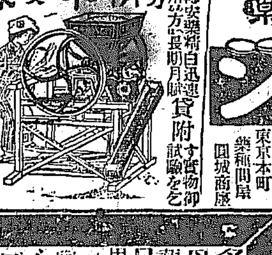
（藤の川（白岩（清瀨川（矢筈山（大戶平
大の里（錦洋（兩國（御西山（駒泉
（黑瀨川（朝潮（千葉崎（三杉磯（大潮
大門岩（福柳（常の花（九州山（大錦

▲右十組の取組なけがきに認め勝力士の肩に○、引分には△を附す事▲勝負は總て協會發表の勝負附に據る事▲預りも勝負附に據る事▲但し同點者多數の時は抽籤に依る事▲投票は一人に付一枚に限る事▲〆切は一月十二日最終便の消印あるもの▲はがきの表面には必ず京城本町京城日報社相撲懸賞係宛と明記する事

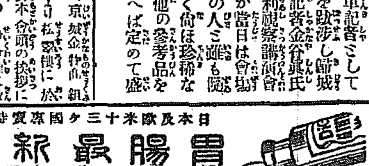
賞品　△一等一人　銀側懷中時計一個　△二等一人　上等反物一反　△三等三人　上等置時計三個　△四等十五人　上等卷煙草一ボール宛　△五等三十人　福袋一個宛

（當選者多數の時は抽籤にて定む）

理想的空氣銃出現　好獵家大高評
如斯本會社製銃は純日本品にして米國デージー會社製品の如きは優美高尚なるのみならず色彩の美は世界無比にして照準の際ニッケル光の反射なく獲物を逃すが如き憂なし
命中正確　一千個の丸を貯藏して一發射しにて弾丸は時間なく作用しに得る
彈力二十間
特長は好獵家に使用自由
大歡迎　定價九圓の品
賣價六圓九十錢
錢十七料送
特に諸君の御便宜を計り代金引換に應ず
大阪市東區九丁目　ミカド商會
振替大阪二一三九

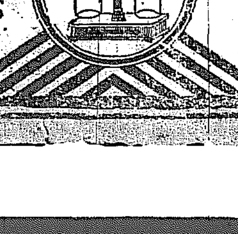


人力　精米麥機
運轉安樂精白迅速
信用ある方へ長期月賦貸附す實物御試驗を乞ふ
○詳細圖入說明書は申込次第送呈
製造元　大阪西區市岡町東　東亞物產社

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥

チスゲチン
食慾が進まない時に食慾を促す
元氣が衰へた時に活力を與ふ
致血のもとには血液を補給す
精力の增進ご體質の增加を促す
現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる
說明書進呈
東京本町　藥種問屋　圓城商店

地方で千圓の品を產地で五圓にて賣升
買物は產地へ直接注文に限る
現物價調節商品
生產地で直接販賣致し外に仲買問屋呉服店の利益を除き澤山の手數を省く譯で有ます凡て織物は產地の價格で御便利を計り目下品の張時期に付特に破格値段にて販賣す
注文　男女の別年齡をハガキで申込めば親切に送ります引替小包で
本場　縞銘仙　一反　甲六圓　乙五圓半
大島　銘仙絣　甲七圓　乙六圓半
兩毛セル　中四圓五十錢
特許　縮緬　大紋　四圓廿錢
縮緬　兵兒帶　中入　三圓
山水　鹽瀨　[illegible]
花鳥　[illegible]
本御召縮緬　一反廿圓前後
群馬縣桐生町　桐生織物直賣所

鐵道拂下品販賣
冬羅紗洋服外套
毛皮胴着並防寒具
軍隊拂下品一式
和洋古衣服類各種
特製品コート、トンビ、大小、外套、婦人、子供、特に多少に不拘御用命被下度候
龍山元町二丁目
金子奧市商店
電話長一〇五　振替口座京城三八二



ハカリ印のヘプリン丸が
かぜねつの最良藥ミして專ら賞用さるゝは配劑の妙を極め其効驗頗る的確なるに因る

多田順三郎殿
母堂孝子儀
葬儀ハ來十一日午後二時於日里ニ付同日同時ニテ同洞寺ニ於テ執行候間長沙洞地當心營追悼式相可申候此段謹告仕
多田工務所員一同
ト友人一同

孫清水榮二儀葬送の際は遠路態々御會葬被下御芳情難有御禮申上候早速參上御挨拶可申上筈の處何分混雜中に取紛れ遺漏之尊名も難計候間乍略儀以紙上を以て御禮申上候
一月九日
祖父　倉重悌輔
母　清水良子
親族一同
友人一同

…特別取扱(即ち十五日より二十…九日まで)に屬する年賀郵便物を…くに引受數五十三萬四千二百六[illegible]のみにて[illegible]年賀郵便の引受到着の兩者を調査すれば少くも尚二十五六萬通宛を算せらるべしとの事なるが年々年賀[illegible]

◎平南道の桑園

大正七年現在に於て調査せし平安南道内に於ける桑園の狀況を聞くに既設桑田反別四千三百六十一[illegible]によりて見るに順川郡の四千二百[illegible]十九反[illegible]して山桑利用見込反別は四千[illegible]百十五反なるが之を各郡の反別[illegible]

[illegible]向つて進行しつゝある[illegible]かるべく降雨の模樣あり全南江原慶尚南北道の各沿岸を警戒す(九日午前十一時京城測候所發表)

[illegible]九段安に始まり[illegible]三十錢と押折し跡又買物に四十錢[illegible]意に返し結局三十八錢と持合ひ散[illegible]

形式教育の弊(上)

平壤高等普通學校長　田中玄黃氏談

現今普通教育に於る弊を擧げたならば種々あるならんもその一般に認められて居るのは餘りに形式的なることである

何か形式的と云ふ言ふ迄もなく形を整へることである外形を作ることである極言すれば外形を飾ると云ふことである成程形を整へ外形を作ることはある程度迄必要なるに相違ないがそれを飾るに至つては主客顛倒である既に必要といふ以上は何等かの目的があるのである即ち目的を達する爲めの形式で形式の爲めの形式ではない然るに其の目的を忘れて外形を飾ることのみに汲々たるは實に言語道斷である

外形は最も人目を惹き易い設備が足り整頓が出來秩序が立ち何から何迄端楷書きの規則づくめである所は誠に立派であるその道の人でさへ組織的である系統的であると感嘆するのであるから縁の遠い人が瞞かされるのは當然である斯の如き學校の生活を五年乃至四年三年經過せば爰に卒業生として社會に出る社會も亦之を認容する所で卒業生は多種多樣の社會に接觸せねばならぬそれで忽ち衝突が出來疑惑が生ずる煩悶が起こる悲觀する甚しきは自暴自棄になる可愛想ではないか快天快地の青年でありながら意氣もなければ元氣もない然も責任は重い將來の大日本帝國をして大なる務めを負ふものである彼等の在學十一年乃至八年といふ長い間の學校生活に於ける四條書きの規則づくめの訓練は社會一般の境遇事情に適應するよう出來て居なかつたのである且つ其規則づくめの訓練さへ未だ充分に習慣とならぬ中に丁度突大的に突き出されて仕舞つたのである骨もなければ味もないのは當然だ誠に殘酷である人の子を賊ふ事になるそこで吾人教育者たるものは大いに猛省すべきである

試みに思へ規則が人を作るか人が規則を作るかを吾人教育者は正に其の規則を作る人を作るべきではないか如何に細微なる規則を作つたとて人間百般の世態を網羅することの出來ないのは識者を待たずして明かであるその疏漏や支障のある點は實に人の道徳心に待たなければならぬその道徳心の根源に向つて培はなければならぬ鍛はねばならぬのが普通教育者の務めではないか

然るに規則づくめの型に箝めて人を作り上げようとする抑々の誤りだ殊に生徒は十人十色皆個性の異る生き物ではないかそれを同じ型に箝めて叩き上げる短きものは無理に延ばされ長きものは折られ所謂苗を抱き或は角を矯めて牛を殺すの類であるその中庸のものは型より出るが只型に箝められた丈で鍛はれて居ない平凡である平等である少數のものは專門教育なり高等教育なり進んで行くがこれは磨きをかけた丈で地が鍛はれて居ないから矢張り平凡たるを免れぬ是に於て人物と學問とは並行せぬことになり世は滔々として教育の効果を疑ひ人材の乏しきを喚つ固より當然だ。爰に人形師がある自己の理想の型に入れて頭を作り體を作りゼンマイ仕掛けで手足を動かす人間の所作事を擬似る觀るものをしてその眞に迫るを思はしめるけれども矢張り人形は人形である無生物である本來の性能を有しない機械の動く丈しか動かない決して其物自身からの活動ではない今の形式的教育は此の人形師の類ではあるまいか

人間の子は生物である天賦の性能を有するものであるそれを捕へて同じゼンマイ仕掛けで動かさうとする無理も亦甚だしい況んや普通教育は幼少年者の教育である餘りに拘束的なる教育が彼等の自然の發達を阻害することは言ふ迄もない亭々として天に冲する喬木は二葉の時から自由に伸びたのである風雨寒暑に抵抗して自ら發育したのであるが今は枝葉自然に整ひ風韻自ら備はつて觀るものをして偉大の感を與へしむる彼の幹を曲げ枝を矯め葉を切りたる盆栽的の庭木と比べて果して如何教育者のよい參考ではないか

◎長春驛の怪聞

保管中の大豆を　白晝大びらに盜み出す

北滿特産物集散の大市場として偉大なる勢力を有する長春に於ては之れに伴ふ諸種の不正手段を弄するもの尠からざるが殊に從來其出廻り期に於て驛構内一面に山積せられつつある特産物に對し或は當然滿鐵會社の雜收入になるべき積卸に關する莫大の零れ落ちたる大豆を利用して自己の私腹を肥しつつあるものありとの噂ありしが過般連絡貨物係員某々等數名共謀して長春某會社員其他二三の者を使嗾し驛の構内に保管せる大豆數十袋を白晝公然搬出し之れを他に賣却して私腹を肥し居たる事其筋の知る處となり直ちに關係者を召喚し目下嚴重に取調中なりと(長春)

◎初春の賑(新安州)

黑翁

の不景氣と大倉常氣の引揚げに擾り沈衰せし新安州の市況は歳臘末より滿鮮製鐵所の竣成期に近づきしと水力電氣計畫の一たび本紙上に於て報ぜらるるや人氣頓に昂上し精米所其他の計畫をさへ試むるもの現はれ市中活氣を帶び新春三ケ日は是迄になき盛況を呈せり而して寒氣凜烈なるにも拘らず同業者例年に比して多く料亭の如きも非常の多忙を極めたり

立志物語　洪水の跡

八島柳堂

幣原氏兄弟の實話

本篇は立志小說物語である。主として立志の爲めに、大阪府下北河内郡門眞村の洪水の跡を書いたものである。本篇の主人公喜重郎は前外務次官幣原喜重郎氏、坦は今の廣島高等師範學校長幣原坦氏の事で新太郎は兩氏の嚴父である

その村では稻の植付けも濟んでほつと一息ついた頃だつた。

毎日々々大粒の雨が小歇みもなく降り續いて、その村の眞中を流れて居る可成廣い川は濁流が渦を卷いて橋を流し家を流した。

背中丈け水から出して溺れながら流れて行く牛もあつた。何うかした時頭を擡げて『もーウ……』と聲をあげるのが堪まらなく憐れであつた。

『おい、誰かあの牛を救けてやれ畜生だから餘計に可哀さうだわい』

百姓の新太郎が焚出しの人達へ斯う云つた時は、もう新太郎の持前の田も畑もすつかり水に浸つて居た。

『何うしよう、俺が田も畑も皆水に浸つて終つた』村の百姓達は申し合せた樣に斯う云つた、其聲は潤んで居た。

『仕方が無いわ、俺が家の田畑も、あれ、あの通りだ、すつかり水に浸つて終つて居るわ、此上は神樣にお願ひ申して、一時も早く水を退かせて貰ふだ、しかし作物は迚も助かるまいぞ、今年は此村の飢饉年だわい』新太郎は斯う云つて涙を拂つた。

その夜になつて川下の或る村の堤が切れて濁流は恐ろしい響を立て、その村へ流れ込んだ。

川上の新太郎の村は見る〳〵內に水が減つて來た。

『水が減つた!水が減つたよ』その村は直ちに喜びの色が誰れの顏にも見られた。

新太郎は夜が明けるのを待つて裏山に登つて見た。さうして、持前の田畑が見る影もない程荒れ果てゝ居る事に氣がついた。

『あツ、すつかり荒れて終つた』

新太郎の顏色は俄に變つた。

さうして其處へ堂と坐つて男泣に泣いた。

『お、お父さん何うしたのです』其處には息子の喜重郎と坦が泣いて居た。

『お、喜重に坦か、あれを見るがい、田畑がすつかり荒れて終つただわい』

『僕、僕何うしよう』二人は其處へ泣き崩れた。

『馬、馬鹿奴……君達は何を泣いて居るのだ、何と云つても自然の力には勝てないわい、田畑が荒れて食ふに困る樣になつたつて仕方がないわ』新太郎は態と強く云つたが其眼には涙が流れて居た。

『僕も泣いて居ないよ』

『僕、何にも泣いてやしない』

『泣いて居ない、よし〳〵それでこそ新太郎の息子だ、だが喜重に坦よ、俺はもう百姓が嫌になつた』

『お、お父さん、それはなぜです』

『なぜでもない、俺が百姓を止める時が來たのだ。先祖には濟まないが今日限りぶつつり止めて終ふのぢや』新太郎の聲はなぜか震へて居た。

『お、お父さん、百姓を止めて是から先、どうなさるのです』二人は新太郎の兩側から詰め寄つた。

『其處だ、俺は此の荒れ果てた田畑を賣つてお前達二人の學資金に當てるつもりだ』

『僕、僕達の學資金に』

『さうだ、學資金にするのぢやその金で一生懸命に勉强して呉れ、これが父の一生の賴みだ』新太郎の言葉には力があつた、子を想ふ深い慈愛の眞心が潜んで居た、親子三人は泣いた、聲を上げて泣いた。

天は綺麗に霽れて强い光がその村を照したが三人の涙は却々乾きさうにもなかつた。

それから幾日かの後、喜重郎と坦の兄弟は棲み馴れた、その村を出立して東京に上る事となつた、村境迄送つて來た村の人々は

『喜重さんも坦さんも身體を大事にして豪い人になつて歸らつしやいよ』と云つて呉れた、東京へ勉强に行く嬉しさと父との別れ、それが兄弟の小さい胸を掻き亂したさうして村人の言葉が嬉しい樣にも悲しい樣にも思はれて涙が泌み出た。

『お、、喜重よ、坦よ』もく行くか、それでは暫時くの別れだ、身體を大事にして俺の百姓を止めた事を決して忘れてはならないぞ』

新太郎は見送りの人を掻分けながら斯う云つて涙をそつと拭いた

『はい……決して忘れません』

二人は胸が迫つて是丈けしか云へなかつた。

二人の小さい姿はその村から一歩々々遠ざかつ行つた。

東京に着いた二人は一生懸命に勉强した。

『百姓を止めた事決して忘れてはならぬぞ』二人は之を紙に書いて壁に貼付けて勉强した。さうして幾年かの後二人は帝大を首席で卒業した。それから兄の喜重郎は外務次官に進んだ、弟の坦は廣島高等師範へ勤める事になつた、

それから暫時經つてからの事であつた、新太郎の村では二人の兄弟の爲め盛大な歡迎會が催され、洪水で荒れ果てた土地は全部買戻された。

慢性りん病

石炭酸より誘導したる劇烈なる殺菌力を有し尿道組織の深部に潛伏せる菌に及び淋疾膀胱に作用あり慢性殊に難症に應用し[illegible]他藥に比し安價にして其效力絕大なり

急性用十日分一圓五十錢　慢性用一劑三圓(見本送呈)

振替大阪二二四九番　大阪市南區櫻川四丁目

藥劑師　淺田藥局

冬の風引には

大學病院　模範方劑

有効保證

KAZEPIRIN

カゼピリン

解熱完全劑

東京　風

本舖　東京市芝區三田小山町五番地　淺野樂天堂藥局

鮮滿藥舖の特約店にて販賣す

お化粧問答

(問)　寢化粧すると色が白くなると云ふ事は本當ですが、其方法を。　(尾道　春枝)

(答)　寢化粧を續けますと幾分色は白くなるやうです其方法は別に六箇敷い事もありません、矢張り一番よくきくアレ止め兼用の白粉下クラブ美身クリームを薄く塗つて、其上へ高尚で綺麗な艶の出るクラブ固煉白粉を襟から顏へかけて割合に濃目に塗ります(お顏には固煉白粉をクラブ化粧水で薄く解いてお塗けになるがよろしうございます)、そして其儘お寢みになり、翌朝御洗面の際クラブ洗粉で丁寧に洗ひ落します。此方法を續けますと翌日お化粧なさるにも非常に樂に綺麗につきますし、毎晩缺かさずお塗りになりますと、色は確かに白くなるやうです。

商況

東京株式特電

八日後場

	引値	七日との比較
東株新	三三〇、〇〇	三〇、〇安
同	三三〇、〇〇	一三、〇〇
商船新	三三〇、〇〇	一六、〇安
郵船新	一三、〇〇	三一〇安
同	一三五、〇〇	一〇安
鐘紡	一四〇、〇〇	一〇安
東紡	[illegible]	[illegible]
同	[illegible]	[illegible]
東京電燈	[illegible]	[illegible]
寶田石油	[illegible]	[illegible]
横濱取引	[illegible]	[illegible]
新日本製糖	[illegible]	[illegible]
北海炭礦	[illegible]	[illegible]
第一新	[illegible]	[illegible]
第二新	[illegible]	[illegible]
同拓	[illegible]	[illegible]

東京現物中値

八日正午中値

東株	一五八、〇〇
同新	[illegible]
朝鮮銀行	[illegible]
同新	[illegible]
南滿鐵道	一五五、〇〇
同	一一八、五〇
第一新	八〇、五〇
東京電氣	五七、〇〇
帝國製麻	一八〇、〇〇
大日本製糖	一一〇、〇〇
臺灣製糖	一六五、五〇
朝鮮	二二五、〇〇
鐘紡新	一九四、〇〇
日清紡	九七、五〇
東京新	四八、〇〇
同拓	二八、〇〇
東洋拓殖	八〇、〇〇

東京期米特電

日後場 三十八圓四十錢

大阪三品特電

日前場 十二月限 三五五、〇〇

大阪期米特電

十二月限 三三〇、〇〇

兵庫期米特電

日前場 先物三十七圓八十錢 二節三十七圓九十三錢 三節三十七圓九十二錢

下關期米特電

八日後場 寄付三十八圓七十九錢 高値三十八圓七十九錢 安値三十八圓三十五錢 止め三十八圓二十五錢

雜 穀

寄付 三元 高値 三元 安値 三元 止め 三元

●株は少強し 濱來各精米所共白米の賣捌振りは僅少ながらも年末の事とて其手に近く大引けの際なる丈け其節米所は引續き移出口の買物起きざる物なれども現物として一寸不味なりしも此處に上げ一圓七十錢地上一圓四十錢見當にて相場商談を進めつゝあり

●氣弱く儘持 硬軟双方機會待ちの風情なると同時に正米市況も合せ居るが買人は却々買ひ呈し居るが貸人は商値に手を出さず株式下げ渋る

●二十錢方の下値 ……

●支那粟漸騰 ……

●々品薄 新物は追々……

●古物 ……

●内地麥市況 ……

●小麥 ……

●大豆頭打ち ……

●二三十錢方の安 ……

●鐵材氣直りか ……

●復 稍人氣回 ……

●幾分引返し ……

●態度 形勢傍觀 ……

●毛斯安氣配 ……

●日胡麻品薄 ……

●綿布好賣行 ……

●綿布注文は頻繁 ……

●四百六十七八圓 ……

●正米動かず ……

●蜜柑不捌け ……

●約五六十錢方の低落 ……

下關場 ……

仁川期米

▲九日前場(結局保合)

▲第一節 ……

●圓四十錢と十七錢安に寄付 先三十四

●五十二錢と跳返

仁川米豆取引所仲買人 三巴仲買店

仁川海岸町三丁目 電話一二三 振替口座京城四〇二番

市場雜觀

仁川米豆取引所 九日の二月限

	前場	後場
寄付	三十四圓四十錢	
高値	三十四圓四十錢	
安値	三十四圓三十九錢	
止め	三十四圓三十四錢	

平均値段 一節三十四圓四十七錢 二節三十四圓四十錢 三節三十四圓四十五錢 四節三十四圓四十錢 五節三十四圓五十錢

物旺盛にて押目待ち買 ……

北濱たより

新春早々からの打撃で買方は少なからず氣勢を殺がれて反對に賣方は之に勢を得て追撃を加へ来つたので一時の小返しも束の間にて裁再び下げ足となつたが何分にも年末に於ては尚ほ堅調を持…

仁川正米

各地商況

●大邱米況(九日) ……

釜山物市場 ……

●合の狀態 弱含み持 ……

氣配弱く ……

大五仲買店

仁川米豆取引所仲買人 店主 猪飼敬太郎

正米買付は當限

大阪小西 渡米の手當

標の賣込み鮮米を目

▲東汽株 ……

▲南滿新株 ……

毛谷村六助 廿六番角力

浪上義三郎速記 桃川桂玉口演

一百九席

近江典膳は槍を取つてリウ〳〵とを扱き中段にピタリと構へた、新十郎も同じく中段に構へて、ヂリ〳〵と詰寄りまする時に、大喝一聲新十郎が繰出す槍、心得たりと典膳拂ひ退けやうとしたんだが、槍を取つては此の人無双の名人、忽ち典膳の槍を碎落し、手元へ飛込んでドーンと烈しく突かれまから、五足ばかり後へヨロ〳〵と退つてドンと仆れていウーンと氣絶をした、驚いたのは新十郎、槍をガラリ投出し『新コレ〳〵誰か居らんか、早く水を持つて来い、氣附を早く持つて参らんければ叶はん』と大聲を揚げました、大きに驚いて父新太夫慌たゞしく立出る、家内の召使も馳け附け、藥を典へ水を呑ませ介抱をすると、暫らく經つて已に甦り、典膳始めて『参つた』とんでもない時にな つて典『参つた』新『確かりなさるや、お氣が附きましたか』典『イヤ何うも恐れ入つた、七箇年の間諸國で試合をしたが、こんな負けをいたしたことは無い、無類の名人、人間業とは思はれん何と恐い事は申さん、拙者當公の門人となつて諸國をお供いたし、日本六十餘州を經巡り、武術をお磨きになつて、尊き良き諸侯へ仕官をなされ、御出世をなすつては如何で、貴下の御氣性なれば、今に天下に名を成さん事疑ひなし』新十郎を賞め立てます、新『如何でござる』典『イヤ武士は年の高下は論ぜん、御當家の御子息は實に驚き入つたるお腕前、拙者師と仰いで更に耻に名を成すべき御相貌、行く〳〵は天下に非凡だ恐らく槍を取たら對ふ者はござるまい名もなき者とお立合になつても無益の事、武術の立合は次として前申上げた通り、諸國の地理人情風土を能く御探察なさるが宜い、後に主人を持つて戰場往來をなさる時、何の位役に立つか相知れません、拙者が存じただけはお物語をいたしませう』新『それは千萬忝ない何分宜しくお願ひ申す』新『それは仕合せ、彼方此方廻りて、播磨と攝津の境に有る御名の廣耶山といふ山がございます、此處に信濃寺と云つて觀世音を勸請した名刹がございます、通りかゝつたのが恰當布引の瀧、是は雌瀧に雄瀧、何方も好い瀧でござりますが、上より下に至るまで彼是二丈七尺もありまして、恰も布を晒すやうに見えまするから、即ち布引の瀧、絶頂へ昇りますると、上に瀧壺がありその傍に西行法師の歌塚といふのがございます、三年經てなり〳〵啣す布引の、今日立そめていつか來てみむ』といふ名

を致したいと存じて典『何二里や三里の道は雜作もない一と跨ぎだ』を兩親に別れを告げ、乃で典膳を供に召連れ因州鳥取在の龜井村を出立いたし彼處から播磨路へ参て、其處此處と見物を致して歩まする内に典膳が典『貴下のお腕前實に感服いたしました、新十郎の腕前に就いて近江典膳は新十郎の弟の約束を爲し、翌日になつて旅の調度を整へ新十郎は兩親に別れ

たが宜しかろう』と種々と云つて勸めまする、新十郎大きに喜んで旅に馴れて居る此の人を引連れば別に道中心配もない、願はくば諸國を修行して歩き、身を立てたいといふ父新太夫も承知いたしたので然らば望みに任せ、兩三年修行いたして來るが宜からうといふ、乃で近江典膳は新十郎の腕前に殊の外感服いたして居りますから、

高い名所でございまして、是を見物してそれから二里ほどで参りまするに、日は西に傾きましたが、典『何二里や三里の道は雜作もない、一と跨ぎだ』尤も血氣盛んの若者が二人、物に頓着がございませんから、ドン〳〵急いで参りました。

福壽丸の損害 (群山港に於て衝突せし)

昨年十二月中旬大阪を發し門司を經て前月十八日午後十一時群山港に入港したる大阪商船會社チャーター船福壽丸(四百三十噸)は入港に際し折柄潮流の關係に依り錨地變換に當り恰も隣接碇泊中の福潮丸(八百六十噸)の錨鎖に船楼を觸れ大破損を生じ航行不能となりたれば修理材料及び職工を下關より招き群山に於て修理中なりしが一月五日漸く修理成り六日荷物の積込を終り七日未明大阪に向け群山港を出航したり因に福壽丸の損害額は修理の爲め群山港碇泊約二十日及び其他修理費を合せて二萬圓に上るべしと(群山)

新廢物利用法 主婦の心得

◆殘飯で團子◆ 夏など御飯の餘つて困ることにはこれを洗つて水にあけて水を切り器に入れてメリケン粉を加へてかきまぜ少々づつ水を注して固くねり團子に丸めて茹でますそして餡こか黄粉こかの好みに應じて味をつけて食ます冬は少々臭くなつた御飯でもかうして用ふれば旨しくいたゞけます
◆殘飯で菓子◆ 御飯の殘つた時は天氣のよいをりには日光に乾し雨天のときには小皿にでも入れて鐵瓶か銅壺の上にのせて蒸氣で乾かしかうして作つた干飯を貯へておき相當の分量になつたら焙烙鍋にでも入れてよく煎り小量の砂糖と鹽とを混ぜるとお菓子代りの旨しいものが出來ます子供のおやつには何よりです
◆お茶殼で御飯◆ 煎茶の出殼をとつておき、相當にたまつたならば御飯に炊きこめば、風味のよろしい茶飯が出來ます。

一月十日

(舊十二月九日) ▲二黑 ▲友引 ▲牛 ▲みづのえ ▲おさん ▲つちのえ

▼二黑●此日は用心すべき日なり
▼三碧●骨折 甲斐のなき日なり
▼四綠●兎角くさ〳〵する日なり
▼五黄●親しく懷かしき日にて起
▼六白●意外なことにて喜びごと
▼七赤●目上の引立を得べき日な
▼八白●人なつかしき日にて花や
▼九紫●勞して効なき事に終る日
▼一白●得て引つ込み思案の日也

あるべく萬事を行ふに總て吉なり
樂金談結婚移轉棟上旅行等凡て吉
り起業移轉結婚金談旅行等に吉也
かなる日なり但し散財を防ぐべし

演藝案内

壽座 京城本町 電話五七八 九日より晝夜 喜劇或る夜の出來事 午後四時開場

有樂館 活動寫眞常設館 早川貫藝部直營 電話一一三〇番 ……

大活劇 ラヂウム鑛業 ……

大活劇 幽靈船 ……

人情劇 黄金の夜 ……

壽館 本町一丁目 電話一三五〇

京山愛三大一座開演 ……

黄金館 一月六日より正月第二次特別映畫 ……

箱根靈驗躄の仇討 ……

戀の暗礁 全五卷

つなぎ舟 全四卷

浪花館 京城明治町 電話二六〇 ……

大正館 櫻井町 電話八七三 ……

赤自動車怪室

舊劇秋父大八郎 全四卷

新派悲劇薄き縁 全五卷

文樂座 本町五丁目 電話一三三八

中風病全快謝告

余は元大阪府教員なるが數年前中風に罹り醫學効なく到底不治の難病なりと斷念せしに兵庫縣明石郡加古郡の忠兵衛氏發見の病に依り全治の幸福を得たり是の卷病者は無代にて同氏へ申込せられよ 大阪市東區 …

りん病淋滅

りん病の新藥を御用あれば全治速なり 藥價一圓四十錢 二圓七十錢 四圓 送料不要

ルーデサック 特製品

十個五十錢 廿個九十錢 B十個七十錢 …… 京城三振替 山田文殊堂藥房

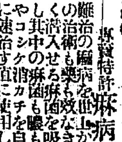
悪性感冒大流行!
▼ぞッと寒けを感じた時
▼急に烈しく發熱する時
▼氣分悪しく頭痛する時
▼嚔の出た時、咳の出る時
▼婦人の冷込より諸病の時
何となく風邪の心地する時は餘病に變ぜぬうち急いで守妙を服むのが一番安全確實です
(全國各藥店ニアリ)
定價 一日分金拾錢 三日分金廿五錢 七日分五十錢 ……
本舗 東京市下谷ゝ池之端仲町 賣丹 守田治兵衛

守妙(守田の妙振出し)
かぜと婦人冷込に一番ヨクキク

コレが今……一番良い風邪藥です!!!
●守妙の大特長
洋藥で出來た他の丸藥散藥は兎角中毒を起し易いのですが純和漢藥壯餘劑の配伍に成る振出し藥の『守妙』は此等の危險が絶對に無いのみか却つて胃腸を強壯ならしめ便通を程よくする等他に見られぬ各種の有効作用があります。

完全な本ものから
ナイス
自然の黑髪に染る
■五大特長
▲タッタ二十分で染る
▲自然の色艶に美く染る
▲襟、枕、に汚染の憂なく
▲洗て剝ず、毛癬を癒し
▲用法至極手輕便利也
價 ▲大瓶七十錢 ▲小瓶四十錢 ▲男子用三十錢
全國各化粧品小間物店及藥店に取次す
發賣元 東京 丹平商會

診察時間 自午前九時 至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前)
シオノウチ歯科醫院 電話八一二番



男女兼用
りん病は藥では治りにくい
專賣特許 麻病こしけ根治器で治る
難治の痳病を出ずから驅逐する爲の本器は從來の治術も藥も效なき尿道內無數の副尿道管に滲入せる痳菌を吸取して浸潤硬結の病竈を破くし其中の痳菌も膿も悉く吸取つて數十年の慢性コシケ消カチを自宅で安全手輕に而も根本的に速治す直に使用して永年の苦痛を根絶されよ
▲特製代價金八拾錢送料各卅錢 ●大阪市北区 京橋區本材木町 新京療法研究所
說明書進呈 東京市

てんかん病と子供のヒキツケ腦
神經衰弱で困る方切手三錢送れ 永年の病も自宅で人知れずヒミツに治す最新療法の詳細を無代で知らす速に申込みあれ 多數の全快者あり
●名古屋市中區南小川町 救生館

男女の生殖器病
發育不完全、包莖、陰萎、早漏、神經衰弱等ぐ慢病等は專賣特許眞空療法器で子宮病不妊症こしけ等は專賣特許婦人病治療器で目に見えて復活すハガキで照會あれ圖入說明書無代で進呈 東京神田カヂ町五 電話神田七二三 東京眞空療法研究所

小說 『任木店新規開業希望の方は郵券四錢送らるれば目錄並に通信に讀る任木店開業の手引』 大阪市南區三休橋筋谷南入 樋口隆文館

醫療化學諸器械一式
仁川本町 北島藥店 電話三四・振替京城六七番
京城本町 永樂町角 北島藥店京城支店 電話七六一番

Ⓚ 藥種賣藥卸商

外科 皮膚科 瀬戸醫院
京城旭町二丁目(舊三丁目) 電話四九八二
醫學士 瀬戸潔
(診察夜九時迄)

京義線(南行) 同(北行) 京釜線(南行) 同(北行) 京仁線(仁川行) 同(京城行) 京元線(北行) 同(南行)

汽車發着時刻 ……

京城日報

第五版

……派二萬と註せられ伯林……缺地に於けるスパルタカス側の躍……なり此現象は獨逸軍隊の多數が今……尚穩健社會黨に同情を有し之を……て時局を收拾せしめんと熱心……宗盛運動にて其同情は……急派に歸しをることを知……派の一大勝利なりと報ぜ……の勢力たる決して侮り難きが故今後の政局は未だ容易に逆睹し難し……を請求せし……て同樣を立出で……十四持ち歸り勘定を支拂ひ立去れ……

京城日報

俗論を排す（二）

謬想の一＝民本主義の勝利

英米佛の諸國にては今回の戰爭終結を以て、ミリタリズムに對するデモクラシーの勝利として、盛んに謳歌しつゝあり。ミリタリズムに對するデモクラシーとは聊かヘンな對照なるも、英米佛は元來デモクラシーの邦と自稱し來れるものなれば、それがミリタリズムの獨逸に打勝たるを、デモクラシーの勝利とするは、論理に於ては是を見ず、面るも弾ふも勝手のことなるが、我邦に於いて淺薄にも軍國主義對民本主義の勝利として狂喜するものあるに至りては、且つ事の實相を透觀し得ざるを示すものにして、慚愧の至りと爲さざるべからず。抑もミリタリズム對デモクラシーの戰爭といふことは、開戰の當初に於いて英國人が自ら名乘りたる標語にして、攻略上多少の意義なきにあらずと雖、他邦人殊に日本人にして、そを其のまゝ鵜呑にし、過ぎし大戰亂を直ちに軍國主義對民本主義の爭ひと信ずるが如きは迂愚の極にして、共に天下の事を談ずべからず。況んや今回の終結を直ちに民本主義の勝利と讚歎景仰し、世界の一切の萬事を舉げて、民本主義にあらざれば通らざる如く謬想するに至りては誠に以て度すべからざる代物といはざるべからず。

吾人は曾て獨逸の無條件休戰を以て、聯合軍が獨力を以て獨逸を屈伏せしめたりと見るは非常の誤謬にして戰爭は所謂五分々々の競合ひにして、双方取總の状態に在りしは事實なり。而も獨逸は無理の上に無理を縮けたる末に、開戰當初より非戰主義を唱へたる社會黨の擡頭蜂起を誘致し、こゝに最も恐るべき身中の大敵を造り、腹背より夾撃を受くるの状態となり、彼が如き無殘の最後を見たるなり。而して此の身中の大敵たる社會黨が、如何にして頭を擡げ來り、彼が如く一朝にして革命を爲し得たりやといふに、要するに戰爭繼續に因る國民の困苦、前途の不安、特に甚しき食料の缺乏はさすがに理性に富める獨逸國民をも、驅りて一種の野獸たらしめたるに外ならず。即ち獨逸をしてしかく食料の缺乏に苦しましめたるは、開戰當初より聯合側の作戰が四箇年の長きに亘りて、漸く其の効果を收めたるものにして、其の勵きはいふまでもなく、强大なる英國艦隊が、嚴密なる海上封鎖を維持したるに歸せざるべからず。若し英國艦隊にして、獨逸艦隊をキール運河内に蟄伏せしめ、一步も外海に踏出し得ざるだけの力を有せざりしならば、疾くの昔に戰爭は落著し居りたるならん。

元來英國の海軍主義は、歷世相傳の國策にして、之を獨逸の陸軍主義に比し、海軍的軍國主義なるの事實は掩ふべからず。唯其れ獨逸は餘りに赤裸々的に侵略的目的を標榜したるに反し、英國は世界の平和維持といふの好名義を掲げ、又實際に於いても多少其の色彩を帶びたるが故に、軍國主義といへば直ちに獨逸の專賣物にして、英國は之に與らざりし觀ありしも、英國こても必ずしも侵略的行動を爲さゞりしにはあらず。其の阿弗利加に於けるの行動、細向の占領の如き、如何なる辭令を用ふるも、事實の掩ふべからざるもののあるを如何にせん。而も歐米人の所謂平和主義なるものは、單に白人種間に限りたるの標語にして有色人種の國に對しては、切取强盗勝手次第の特權あるものゝ如く考へ、テンで之を問題にせざるを以て、彼等の間には英國は平和主義、獨逸は侵略主義といふ色別を立つるも、吾が日本人の目を以て見れば、双方とも純乎たる軍國主義にして、其間に何等區別を設くるの要なし。されば今回の戰爭の結果を論じつめて見るときは、英國の海軍軍國主義の勝利にして、獨逸の陸軍軍國主義に對する喧嘩の如し。譬へば山鳥と里鳥との喧嘩の如し。多少其の習性に異なりたる所はあるべきも、同じ鳥たるに相違なし。勝敗は畢竟ミリタリズムの勝敗のみ、デモクラシーは與る所なし。吾人は實に此の如くに觀、此の如くに信ず。此事たる名義上の爭ひに過ぎざる如しと雖も、世に瀰漫する俗論は、其の弊極めて此に著くるもの甚だ多く、其影響する所甚大なるものあるを以て、先づ以て其の謬を啓き、以下漸次其他に及ばんと欲す。

活動粗食論（一）

陸軍大將男爵　福島安正

世界の大亂は漸く終結を告ぐるに至つた。開戰當初より多くの人々は獨逸は終に戰ひには勝つべしと謂ふたが我輩は如何にしても其れを信じられなかつた。第一獨逸は軍隊の鞏固なること世界第一であり、

▽學術に於ても 科學の應用といふことに於ても、國民の思想統一といふことに於ても、世界何れの國にも優越してゐる。然し獨逸は結局戰ひには破るゝに至るだらうといふことを我輩は初めから豫想して居つた。其の理由は外でもない。乃ち獨逸は國家として有らゆる點に於て他國に優越する中に於て、最も大切ならざるべからざる所の正義人道の精神的要素が開戰當初より缺けてゐたといふことが、其の理由の重なるものでなければならぬ。即ち白耳義の中立を犯して無辜の民を其の居に安んずる能はざらしめ、殊にその婦女子を凌辱するが如き、又は無制限の

▽潜水艇を用ひて 罪も無き客船を撃沈するが如き、之れ戰時國際公法に悖れるは勿論、正義人道を無視したる行爲と謂はなければならぬ。是れ實に米國が遂に戈を把つて戰ひを宣するに至りし所以にあつて、獨逸の今日在るは既に此の時より事實上定まつて居たものと謂ふことが出來る。然るに凡そ世に國家として社會として、一家庭としても、此の所謂正義人道の精神的要素を忘却するに於ては、終に其の成立を其の存在を維持することが出來なくなる。此の事は千古動かすべからざる大眞理で、人として須臾も忘るべからざる大道である。然るに

▽是れを一度忘る るが如きことあらんか、其の國は終には露國の如く、又墺匈國の如く、恰も亂麻の如く殘燃たる有樣となるに至るであらう。然れども我が國は古來忠君愛國の精氣天地に充滿し、萬世一系搖ぎなき皇室を戴くの光榮を有してゐる。將來萬一世界の形勢困難に陷り、假りに國際間の問題我國を襲ふが如きことありとしても、我國民は斷乎として毫も動搖を感ぜざるの修養と覺悟がなければならぬ。是れ國力の充實に俟つの外無きは勿論であるが、單に武力、學術、藝能、機械工業、農業商業等一歩も列國に讓らざることを期することによりてのみならず乃ち其れのみにては未だ

▽用意の到れる ものといふことが出來ない。要は此れを運用する人物如何に在るのである。即ち正義人道の精神的要素に伴なふに、水火も尚ほ辭せざるが如き精神の剛健と、風雨寒熱、毫も意とする所なくして活動し粗食し、以て千難萬艱に堪へ得らるゝ鍛鐵に均しい强健な身體と、又天地を小さし座して乾坤を睥睨するが如き雄大なる氣宇を養成することゝ、加ふるに列國に後れぬやう學術の進步研究を爲すことに在るのである。此の四大要素を鍛成するには、何うしたら好からう。如何なることをしたならば克く此の要素を取得することが出來よう。先づ之れを熟慮講究しなければならぬ。全國の

▽男女老幼は皆 同一の考へを以て朝夕鍛錬し修養しなければならぬ。其の方法としては書籍の研究、名士の講演、或は擊劍柔術、水陸の競技皆可なりでは有るが、此等は多く一部の青少年或は有志の間に限られてゐることで此れを以て一般の人に向つて望むことは困難である。我輩は斷言する。之れを爲すには唯山野の跋渉に在るといふことを。抑も山野の跋渉が如何に國家の將來に最も重要な關係を有してゐるであらう、次にその大要を述べよう（東京）

本紙定價（一箇月金五拾錢 前金三箇月壹圓四拾五錢 六箇月貳圓八拾錢 一箇年五圓五拾錢）
廣告料金（普通活字五號一行金五拾錢 特別…）
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田山之介
印刷人 小川三之助
電話番號（編輯局… 營業部… 工場…）振替京城三〇…番

新春詩壇（選外佳作）

歲朝晴雪

開城　禹永熙

雪與年華並。日將曉彩舒。驅前三白後。春首一晴初。照世文明像。鞏窰寶物書。定知新瑞應。萬國拱皇居。

京城　金永鎬

元朝祥雪霽。天地淨無塵。江白沙鷗沒。山明玉樹新。迎春歡稚子。添歲感衰人。得見豐年瑞。生涯自不貧。

甕津　金秀騏

歲新又日新。詣出太平春。瑞色連雙闕。豐徵滿四隣。梗拾長有月。世界都無塵。遙億梅花樹。應開濮水濱。

水原　金璞玉

璽龍三百萬。戰龍黑雲開。北陸寒風過。東天旭日回。山連銀海色。物浸玉塵灰。客至相慶賀。房蘇同侑杯。

義州　獨孤湜

瓊房覆塵埃。新年瑞色來。房蘇傾賀酒。芳樹發寒梅。香噴宮茶鼎。聲開報歲雷。今朝多勝賞。笑倚望春臺。

大田　李東鼓

大正八年曉。江山大雪晴。風塵渾掃蕩。日月並文明。竹筒碎玉聲。窓末隕花影。歲豐先獻瑞。最喜享昇平。

清州　郭在南

霽雪呈祥瑞。家々共拜年。乾坤猶冷淡。世界更新鮮。枝上梨花發。杯中柏葉傳。客來同一醉。旭日照窓前。

金化　朴鶴魯

歲朝詩興加。晴雪正光華。日暖鶯鳴雨。風過樹隕花。漁人堪入畫。學士可烹茶。滿飲屠蘇後。踏瓊訪友家。

地方行政

廿七卷一月號　每月一回一日發行　一冊金十五錢

平和の新年を迎ふ……社說
戰爭と自治……
地方補助に就て……
財政難に就て……
自治と時代……
戰後に於ける地方制度……
地租免除と附加稅……
富山縣の一大問題……
戰後に於ける農民の地位……
林野基本調査に就て……
緬羊飼育論……
保賀屋と町村……
戰後の農村の將來……
クレマンソー……
大日本の改造と教育……
新田閑人　上泉能……

帝國地方行政學會　東京市京橋區…　振替東京…

此鑛物

鑛物の智識を要求する士は來れ
鑛物鑑定に惱む人は本書に諮れ

新刊　最も巧妙に最も新しく…
秋田鑛山專門學校教授　小泉忠夫氏　中日實業會社技師　戶島敏氏　共著
菊版…定價金…圓
發行所　東京市日本橋區大傳馬町貳丁目拾六番地　內田老鶴圃

日本鑛石學　第二卷　金篇
日本鑛石學　第三卷　銀篇
日本鑛石學　第四卷　銅篇
實用鑛物學講義
探鑛法
實用岩石鑑定及地質表
本邦岩石圖
最近乾式試金術

新刊
岩崎重三氏著
石炭略說　石炭の性質及其使用法
增訂六版出來
日本鑛石學　第五卷　石炭篇

太陽

新年號
恒久平和の諸要件
定價六拾錢　東京本町　博文館

恒久平和の諸要件（其一）……
恒久平和の諸要件（其二）……法學博士
國際聯盟問題……淺田江村
世界再造と國際經濟／戰後整理と永久平和……堀江博士／神戶博士
講和使節選任事情……無名隱士
永久平和論……仁保博士
世界經濟戰の謬想……福田博士
教育時言……

新年大附錄
小說　悔（最長篇）……廣津和郎
小說　自殺幇助者……久米正雄
小說　毒草婆……中村星湖
小說　通夜……豐島與志雄
小說　田舍の友へ……萬造寺齋

動搖の新年を迎へて（三）……內田魯庵
海洋自由問題……松波博士
危險は思想より生活の不安……長谷川誠也
善い頭の危險性
手で鬪ふ民俗傳說……南方熊楠
平和の準備條件……千賀博士

口繪　休戰迄　探梅　朝晴雪　李王・梨本兩宮家の御慶事　牧野全權大使の渡歐外數種

堂々壹百餘頁に亘る講和條件の研究と新春文壇の第一壯觀たる創作とを讀め

賀正

大藏省認可　明治四十二年創業

營業科目
帝國公債月賦販賣
有價證券現物賣買
一般金錢貸附業

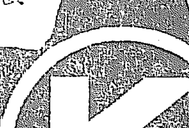
帝國公債株式會社　朝鮮支部

販賣契約高貳百萬圓余
□內勤社員一名
□外勤社員數名
採用
希望者は來社あれ

支部長　森田友太郎

他に類のない自宅新事業
△無資本同様誰でも家に居ながら出來る…

百圓内外實收



東京本所長崎町三目…

商業登記公告

……京城地方法院

公示催告

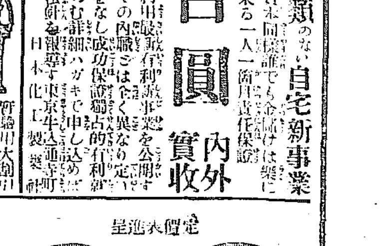
……京城地方法院

公示催告

……京城地方法院

公示催告

……京城地方法院



中村眼鏡店
京城本町
電話壹壹七番・振替京城三四六番

◇講和會議は廿日か　會議は三箇月間繼續

聯合國講和會議は多分一月廿日開會さる可く會議は三箇月繼續すべし尚ヴエルサイユ宮殿に於ける實際の講和條約調印は該會議終了後迄に遲るゝ事となる可し（巴里電報）

◇巴里講和協議會

十三日巴里外務省に於て開會すべき協議會にて講和會議の順序及び各國より列席すべき全權委員の員數及び其他若干の問題を議すべしと（巴里電報）

◇大統領一應歸米

ウイルソン氏は米國議會終末會議に參列の爲め歸米し其後講和會議未明の諸會議開催中再び佛國に赴く可き旨發表せり（巴里電報）

◇佛首相等巴里着

ウイルソン氏及び佛首相クレマンソー氏は七日巴里に歸還せり尚英首相ロイドジョージ氏は十一日巴里到着の筈なり（巴里電報）

◇廣東講和委員

廣東軍政府は南方代表者として伍廷芳、孫文、王正廷、汪兆銘、伍朝樞、王寵惠の六氏を歐洲講和會議に派遣するに決し國會の同意を求めたり（廣東特電）

◇新王國艱設　黑山國塞爾維合同

塞爾維、クロアチヤ、スローベン各民族より成る新王國政府は聯合國政府及び中立國政府に對しピーター帝王統御アレキサンダー殿下攝政の下に新王國艱建の旨公式に通牒を發したり黑山國は再びカラ、ダオルゲウヰッチ家（塞國王室）の下に塞爾維と合同せるを以て今後領事館其他は何れも塞爾維、クロアチヤ、スローベン王國公使館領事館と改名さる可しと（巴里電報）

◇佛食糧制限撤廢

佛國は今回食糧制限を撤廢せり（巴里電報）

◇和議代表派遣打電

李純氏は廣東軍政府に打電し北方和議代表者は既に南京に落したれば南方も亦速かに代表者を派遣すべしと述べたり（上海特電）

◇國際條約修正　請願

支那在野の重要人物は支那が國際條約より受くる苦痛を除く爲め條約修正の民意を請願するの聯合會を發起し其方法を定めたりと（上海特電）

◇特使其他に御陪食仰付らる

天皇陛下には九日正午閑院宮、久邇宮兩殿下を宮中千種間の午餐會に召させられ講和特使西園寺侯及び隨員一同並に各元老、大臣、大臣禮遇其他へ御陪食仰付けられたり（東京特電）

□御講書始

天皇皇后兩陛下には九日午前十時鳳凰の間に出御あらせられ御恒例に依り新年御講書始めを行はせられ左記御進講を一時間半に亘り聽し召され同十一時半入御あらせられたり（東京特電）

洋書　法學博士 男爵　穗積陳重
國書　文學博士　松本愛重
漢書　正五位　土屋弘

◇賢所參拜仰付　特使隨員一同に

講和特使西園寺侯隨員一同に對し九日午前十時賢所參拜仰付られたり（東京特電）

◇高等學校長更迭

九日左の通り辭令ありたり（東京特電）

第六高等學校長　金子銓太郎
任第三高等學校長
文部省督學官　丸山環
任第六高等學校長

◎軍事費再調査　撤兵實行影響

來る廿一日議會の休日明けと共に衆議院に提出さるべき大正八年度豫算案は舊臘中大體の編成を了り大藏當局より一切の書類を印刷局に回送して印刷に附せしめつゝあるが臨時軍事費特別會計豫算を始め臨時事件豫備費豫算等時局に伴なふ

▲經費の豫算　のみは之を一般會計豫算及び普通の特別會計豫算と引離して目下尚ほ大藏當局に於て再調査を續け居れり道は要するに臨時事件費に在りては講和使節の渡歐其他の事情に依りて臨時軍事費に於ては出兵計畫の縮少其他の關係に依りて隨時變更を加ふるの必要を生ずる爲め出來得る限り實際に近き豫算案を編成して提出せんことを期するに外ならず殊に臨時軍事費は豫算閣議終了の當時には概約二億圓と見積りたるもの貴衆兩院議員に對する內示時に際しては之より

▲約二千萬圓　を減少し陸軍省所管一億二千萬圓、海軍省所管四千萬圓、合計一億六千萬圓の外豫備費二千萬圓を加へて總計一億八千萬圓を計上せるが更に其後に於ける時局の推移に伴ひて西伯利出征部隊の一部を送還する等徐々復員計畫の實行に着手せるあれば陸海軍事當局とも協議の上豫算の內容を變更するの必要に迫られたるを見る尤も撤兵は爾後の出征經費を一切不用に歸せしめ長時日の間に於ける

▲國庫の負擔　を夫丈け輕減する理なれども撤兵其者の實行の爲め例へば送還に關する船舶の徵用等にて出征中よりも寧ろ多額の經費を一時に支出する事情も存するを以て八年度豫算案に臨時軍事費として現はるゝ表面の數字には差したる減少を望み難く矢張り上記の一億八千萬圓見當を計上され公債又は借入金に據りて之を支辨するに至らんかと（東京）

◎拓殖鐵道經過　好調に進捗

慶尚北道金泉郡金泉面在住の渡邊榮太郎氏外有志相圖り資本金一千萬圓を投じ朝鮮拓殖鐵道株式會社を設立する計畫ありしとは既報の如くなるが其後の狀況を聞くに客年八月より東上中なりし渡邊氏は在京の資本家

▲有力者と交渉　の結果定款中附則發起人を藤山雷太、高山長幸、岡松右左松、原田金之祐、高野省三、和田稻吉、谷頭浩之助、津田毅一、奧澤福太郎、渡邊榮太郎、有田寬次郎の諸氏に變更し願書は目下作製中にして本月中には總督府東京出張所に提出の運びとなるべきが內申請だけは既に客臘廿五日に提出したり、而して認可後は直ちに創立總會を開き八年中には第一區線たる慶尚北道金泉安東間の

▲起工に著手　し遲くも同年內迄には一部開通を期する豫定なるが線路の或區所は內地鐵道と等しく其軌間を三呎六吋に變更し殊に同道なる前記の區間は各線を通じての重要なる線路なるを以て幾多の新研究を加ふべく資本一千萬圓も都合によりては三千萬圓に增資すべき計畫なりとの事なるが此點は未だ確定し居らずと因に渡邊氏は右の計畫を齎して舊臘二十八日歸鮮したり

◎總督府豫備金支出　七十五萬圓＝其の內譯

總督府特別會計大正七年度第二豫備金支出額は七十五萬圓にして右は西伯利及び滿洲に出兵の結果電信線增設の必要ありたる爲め之が增設費其他

▲七件に於て　豫算外支出を要し又豫備金外支出金額は六十萬三千三百四十九圓にして右は時局の影響に因る物價騰貴の爲奏任官其他に對する臨時手當補足其他四件に於て豫算外支出を要したる處大正七年度總督府特別會計第二豫備金豫算挪切りとなりたるを以て前記金額を支出するに至りたるものなり次に朝鮮醫院及び濟生院特別會計七年度豫算超過支出は二萬三千三十七圓なるが右も前同樣物價騰貴の爲奏任官其の他に對する臨時手當の支給を要したる處醫院及び濟生院の特別會計歲出臨時手當の豫算に不足を告たるを以て同院特別會計の收入を以て豫算

▲超過支出を　爲すに至りしものにして右は孰れも今回勅裁を經たるものなり支出の內容左の如し

▲朝鮮總督府特別會計大正七年度第二豫備金支出
十五萬四千六百四十四圓信線增設費▲二萬六千四百七十三圓臨時郵便取扱費▲十一萬八千五百七十四圓水害復舊費▲三萬七百九十四圓水害復舊補助▲一萬六百三十一圓臨時警備費▲一萬七千六百二十五圓朝鮮部隊費補足▲一萬八百八十九圓遞信官署服務手當補足▲三十八萬三百七十八圓臨時手當補足▲合計七十五萬圓

▲朝鮮總督府特別會計大正七年度豫備金外支出
▲三十萬四千九圓臨時手當補足▲七萬四千七百六十圓教育補助補足▲十五萬八百九十二圓內國旅費補足▲六萬二千二十二圓地方費及府吏員臨時手當補足▲一萬一千六百六十八圓通信現業員勤勉手當▲合計六十萬三千三百四十九圓

▲朝鮮醫院及濟生院特別會計大正七年度豫算超過支出
二萬三千三十七圓臨時手當

◎米國製艦方針

海軍長官は十二月三十日下院海軍委員會に於て製艦方針を說明するに當り若し不幸にしてヴエルサイユ會議の結果國際聯盟の成立を見ず依然各國造艦競爭の勢ひを增加するに於ては米國は全力を擧げて世界最大の海軍を建造せざるべからずと論じ一委員の質問に對し右は大統領も同意見なりと答辯し世上大いに注意を惹きたるが三十一日同長官は更に同委員會に於て戰後は米國海軍を大西洋及び太平洋の二大艦隊に分ち常時兩艦隊の聯合演習を行ひ從來海軍士官の本國勤務を嫌ふの風を矯むる方針なる旨を述べたり右太平洋艦隊に配屬すべき艦艇に就きては說明せざりしも一般に兩艦隊を均等ならしむる計畫なりと傳へらる

年頭に立ちて（四）

▼空漠無根據の樂觀論を排す

朝鮮殖産銀行頭取　三島太郎氏談

年頭に立ちて先づ考へねばならぬ問題は本年財界の趨向如何である財界趨向の如何は講和後に於ける

▲列强財政策　の方針如何によつて定まると稱して差支ない、その財政策は三千億に上つた各國の軍費の大部分は素より公債支辨によつたのであるが其償還並に利拂をやる結果政府の歲出は今後如何に殖へて行くか戰死者並に戰傷者に對する恩給救濟金の支出は幾何に上るか白耳義の如きは戰後の恢復に政府の力を幾何要するか之等に基因する歲出の激增と戰前の歲出との比較は如何になつて來るか列强で發行せる不換紙幣の整理回收を如何なる方針にてやつて行くか戰後に於ても到底短い間には各國ともに金の輸出禁止は解くまいとも云はれてゐるし夙くも增發紙幣や公債の額面の切り下げ說も生れてゐるがそれらの結果列强の戰後に於ける財政策は如何に決定し如何に實行されるかこれは近く巴里に開かれる講和會議の結果も非常に

▲重大な關係　を有つて來る事と考へるが要するに戰後列强の財政策は殊に貿易方面に於て極端な保護政策に出づるだらうと推測される從つてその結果日本の財界は如何なる影響を受けるか今日に於ては斷ずべき資料乏しきため何とも云へぬのであるが列强の現勢より見て予は到底前途を樂觀し能はぬものと信じてゐる世上には一種の樂觀論者もあるやうだが其樂觀論は如何なる根據如何なる推測によつて立てたものなるかは予輩の到底首肯し難い所である、唯その影響その反動が如何なる時期に現はれ如何なる速度を以て襲つて來るかは容易に豫測を許さぬけれども本年は正に平和後の第一年として反動により動く波瀾は輕いものであるまいと思ふ、尤も朝鮮は事業界その他に於て

▲戰亂の好影響　を受けし事甚だしとは云はれぬ從つてその反動も急激には來ないであらう、米價の如きは昨年來戰爭の結果急激に暴騰してゐるけれども米價の騰落は外の諸物價の趨勢と必ずしも軌を一にせぬ特種の事情によつて動くものであるから財界の反動來を見ても俄にその暴落を現出する事はあるまい、然し乍ら棉價の如き鐵鋼の如き特種鑛物の如きは世界的なる物價の大勢に抗し得ずその低落は餘儀ない次第と云ふべく之等の方面に若干の不況を現はす事は避け難いであらう、又生產事業の方面は物價が低落して生產品が下る事となればその收利は減ずるけれど從つて勞銀原料の低落あり結局困難苦痛を見ゆるのはその移轉變化期にあり過渡期にありとすべく乃ち著實な事業であれば反動來必ずしも驚ろくに足らぬと云つてよからう、思ふに列强の財政策より吾が財界の受くる

▲不況波動　は避け難い唯その程度と時期が問題である財界の人々は漫に思惑に走らず着實に前途を警戒しつゝ然も輕々しく悲觀せず事に處して欲しいと思ふ

◎朝鮮商銀決算

朝鮮商業銀行にては二十五期定時株主總會を來る二十四日開會する事に決定せしが期末の預金は五百八十七萬圓貸出六百七十餘萬圓にして共にこれを前期に比し著るしき增進を示せり尚ほ同期の純益は五萬九千百三十圓前期繰越一萬五千五百十九圓にして左の分配案を附議すべし

三萬一千圓　諸積立金
一千六百圓　重役賞與金
二萬六千五百二十九圓　株主配當（年九分）
一萬五千九百二十一圓　後期繰越金

◎蘭貢米解禁說　疑はし　鈴木支店入電

九日午後鈴木商店京城支店へ神戶本店よりの入電によれば蘭貢米解禁の說あれども眞實と思はれず又產地の實情より見るも無制限の解禁は不可能なるべく假令解禁を許するもその量は多からざるべしとあり本社入電と矛盾せる所あれど姑く記して後報を待たん

◎鮮鐵營業收入　京管

調査に依る昨年十二月分鮮鐵營業收入を聞くに客車收入七十三萬四千圓貨車收入八十六萬一千圓、運輸收入百五十九萬五千餘圓にして之を前年同期に比較すれば各線共に增加を示し居れり而して一日一哩平均收入は四十六圓七十一錢なりと

◎朝郵航路缺航　結氷

結氷の爲め朝鮮郵船會社航路中仁川鎭南浦及び仁川海州線休航に付滿鐵京城管理局にては當分の中仁川以北各港行連帶貨物の受託を中止す可しと

◇ル氏の死因診斷

前大統領ルーズベルト氏の死因に就き醫師の發したる陳述書に據れば氏は五日夜半、以前よりも氣分爽快にて就寢したるが造作なく呼吸絕わたり原因は多分肺栓塞ならんと（紐育電報）

◇選擧法改正眼目

選擧法改正案は內務省にて大體成案を得六日法制局に回附せるが眼目は（一）選擧權の擴張（二）區制の改正（三）別表の改正（四）期間の改正にて（一）は納稅標準を三圓迄に低下し（二）（三）（四）は前議會に政友會より提出せるものと略同樣なりと（東京特電）

◎土地創立總會　朝鮮

朝鮮土地經營株式會社は來る三十日創立總會を開催し二月中旬第一回株式拂込を爲すべしと

◎飯田大興社長

南滿大興會社長飯田信太郎氏は七日夜朝鮮經由來奉八日夜遼陽に向け出發せるが約一週間の後再び奉天に來り數日間滯在張巡閱使にも會見の上歸東の豫定なるが用件は或一大事業計畫の爲めなりと（奉天特電）

◎戰後貿易と金融

▲經濟界前途　歐米各國は講和と共に戰時的施設の整理に着手すべきが何れも本年中より四月に亘り其間三大帝國の軍隊の復員を見たるのみならず二千萬の軍隊を復員せしめ二千億の戰費を處分せざるべからざることゝて平時狀態に移るべき過渡期に於ける一時的混亂は避くべからず然れども戰時特有の國家的大消費は講和に依り停止すると共に戰時中抑制せられ居りし個人的、平和的消費代つて起るべきを以て物資の消費は依然として旺盛を極むべきを以て過渡期の動搖を經過したる後は或期間一般的好況を見ることあるべし。

▲本邦の經濟界　我經濟界亦此世界的大勢の影響を被ること論なしと雖も對外軍需品の輸出は熄み、戰事中特に盛んなりし印度、南洋、濠洲方面への輸出貿易は戰後列國との競爭に依り戰時中に於けるが如く活潑なる能はず、一方國內の消費は外國の如く戰時中特に抑制せられたることなきを以て戰後特に膨脹すべき理由なく此等の點に於て歐米各國とは趣きを異にせるを以て外國同樣の好況を期待すること難し、加ふるに戰時中勃興せし事業の多くは尙ほ著手せられ居らず今後事業の進行と共に機械材料の輸入を促すべきを以て貿易は逐月輸入增加の趨勢を示し從つて內國の金融は下半期に入り漸次緊縮傾向を告ぐるものと觀測さる

▲銀行界の革命　最後に戰時中に起りし國際間の投資、並に有價證券の國際的移動は戰後一層盛んなるべき趨勢を示しつゝあり我國の如きも其額尙ほ甚だしく大ならずと雖も旣に此大勢に隨從しつゝあるの實狀に在り、此大勢に順應すると同時に我對外事業の發展に資せんとせば勢ひ銀行業務の範圍を對外的に擴張せざるべからず一方銀行家の立場より云ふも增大せる銀行資金運用の範圍を擴大して金融の波動を調節するの必要あり爲替資金問題、預金利率協定、信託預金問題等は畢竟此必要に迫られつゝあるの證左にして之を助長する事は同時に銀行家自身の地位を鞏固ならしむる所以にして之が爲めには銀行の合併信託機關の創設等幾多急を要する者あり英國の銀行が近時合併集中の傾向を示し又米國のインターナショナル、コンパニーが東洋に活躍せるより見るも我國の金融業亦革進を迫られつゝあるを感ぜざるを得ず（山成橫濱正金副頭取談＝東京）

人事消息

▲竹井肝城夫氏（京城製糖社員）九日入城朝鮮ホテルへ
▲中野太三郎氏　八日夜退城
▲菊池常作氏　九日夜退城

◇鳥瞰錄◇

米問題のこぼつちりが米屋から酒屋に泛來たと云ふ譯でもあるまいが▲米の不足を補ふには酒造制限若くば全廢論を唱へて居る經濟博士もある▲若し全國の酒造が全廢されたら其の原料四百萬石と云ふ米は當然出て來る譯だ▲米價調節の最簡便法としては成る程尤もらしいが扱て需要のある處供給ありで天下酒徒の絕ゆぬ限りは鳥渡難題だらう▲此の一派の名論卓說も例の廢娼論と同一の運命に陷りはせぬか▲强て供給の道を塞がうとすれば國家が高壓的に法律を以て產業の自由を束縛せねばならぬ▲米國に禁酒町と云ふものがあつて各都市に殆んど存在して居る▲其起因は亭主の酒癖に憤慨した山の神連が町內の酒屋征伐に始まつたと云ふ事である▲處が今では逆に取つて順を守り市民各自の自制心と社會的制裁とに依つて一つの法律なく一つの山の神無く騷ぎなく禁酒町の實を擧げて居る▲酒造全廢博士も自然發生の壓迫など云ふよりも婦連を煽動して酒屋征伐をやらする事にすれば好い▲一體物事は舊慣や習慣を遽に打ち毀す事は無理だ夫よりも各個人の公德心と自制心とに依つて矯正するのが上乘の策だ▲禁酒や節酒の如きも先づ自發的に需要の道を塞ぎ自働的に供給の道を遮るのが最も文明的では御座らぬか

下關期米特電

九日前場　當限　中限　先限　……三八、三九

大阪期米特電

九日　前場　後場　止め　三八、一〇　三八、一〇

大阪株式特電

高値　安値　止め　三八、四七　三八、二九　三八、五一　三八、三六

一九五、八〇　九七、〇〇　一三八、〇〇　一九五、八〇　九七、〇〇

仁川期米

△九日後場　後場當限出來不申　△中限一節三十三圓九十九錢二節十九錢四十錢一錢二錢四十錢三十　九十二錢三節九十五錢四節三十三　九十八錢四十錢三十九錢三　四十

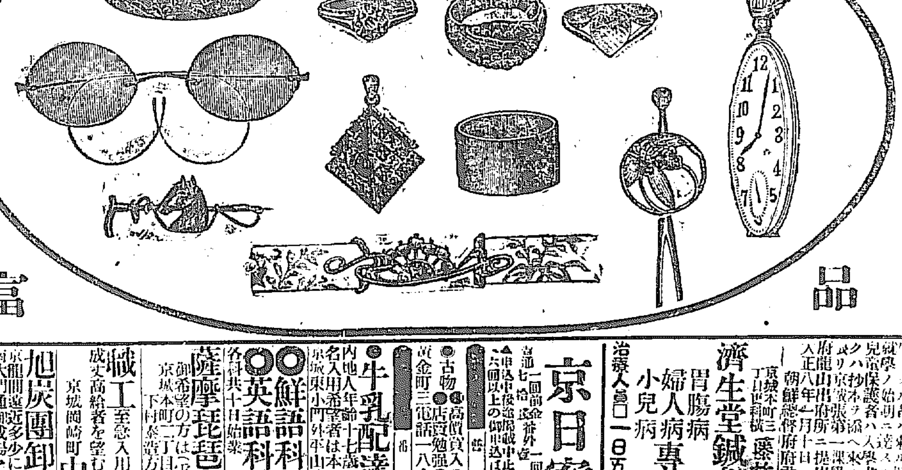
仁川米豆取引所

九日の三月限

○力士の給金

最高は……關の最高である朝潮はズット下つて六十九圓五十錢、伊勢ノ濱は六十五圓五十錢、九州山は五十圓廿錢……大夫と五十錢所下つてゐる、大錦と栃木山は昇進の時に十圓宛特別昇給する

在品豊富



來る十五日より十七日迄三日間棚卸に付臨時休業仕候

村木時計舖京城支店（電話四七一番　振替京城三一九〇）

周易家相　岡村介石　京城明治町二丁目

京城學校組合告示第一號
京城學校組合區域內ニ居住スル內地人兒童ニシテ明治四十五年四月二日ヨリ大正二年四月一日迄ニ出生シタル者ハ來ル四月ヨリ尋常小學校ニ就學ノ始期ニ達スルニ付右學齡兒童保護者ハ戶籍謄本若クハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日迄ニ京城府廳學務係又ハ龍山出張所ニ提出スヘシ
大正八年一月十日　朝鮮總督府京城府尹　金谷充

濟生堂鍼灸療院　藥井百太郎　京城本町三丁目
胃腸病　婦人病專門　小兒病　入院隨意
治療人員一日五十名限り

京日案內
一回前金一行一回五十錢　申込中止取消の節は料金不返戾　六回以上の御申込は特に割引のこと

●古物　●高價買入　●交換委託　●店頭勉強　●注文出張
黃金町三丁目　電話一八六二　關根古物店

●牛乳配達人募集
內地人年齡十七歲以上三十歲以下　採用希望者は本人直接來談あれ
京城東小門外平山牧場　電話一三三一

◎◎鮮語科　英語科　新學期三ケ月修業　各級共十日始業　外人三名出席　各科補缺募集
京城青年會

薩摩琵琶讓受たし
御希望の方は（電話八六番）京城本町二丁目八七番地　下村泰方　有馬良熊へ

職工至急入用　成丈高給者を望む　仕上工　センバン工
京城岡崎町　中根工場

旭炭團卸小賣　大勉强
遠近多少に依らず配達仕候
南大門通御成湯前　電話取次四八一　宮崎商店

ゴム玩具　一月二日より三十日迄間割引賣出し定價表無料郵送
京城本町通　電話二六〇六　太陽ゴム商會

△下宿讓りたし
京城市內目拔きの場所閑靜の爲め居抜きの儘至急讓りたし御希望の方は電話二七二六番へ御照會あれ

年金恩給　低利長期即時立替　保險不要
●京城永樂町一商品陳列館前下角　江州屋本店

外勤募集　地方主任若干名
採用希望者は履歷書持參面談
京城黃金町一丁目　有隣生命保險朝鮮支部

●産後三四ケ月位の乳母入用
姙合にては御預り下さるも差支へなし
京城西小門外　福田嘉助

人相見讀心術　開運指導
▲新學術應用▲赤誠者料
京城旭町一出雲屋方　南龍子出張

僞物あり注意詳細八日の本紙御覧

りん病　請合藥
ばい毒　請合藥
京城南大門外本町通　ドラッグ商會請鮮本部
京城黃金町三丁目電車通り　ドラッグ商會支店
龍山兵站電車交叉點前　同支店

◎多大なる興味を有つて

新兵教育に御精勵

李王世子垠殿下の御近情を 李王、李太王兩殿下に御報告

＝近衞聯隊附陸軍少尉趙性明氏の談話＝

李王世子垠殿下の御學友で殿下と同じく近衞聯隊附の陸軍少尉趙性明氏は世子垠殿下の命を承り殿下の近情を李王、李太王兩殿下に御報告の爲め六日夜歸著した氏は西小門の邸宅にて恭しく語る『私の歸鮮したのは世子垠殿下の

▽御近情を 李王、李太王兩殿下に御奉告申上ぐる爲め去八日昌德、德壽兩宮へ伺候して殿下の御近情詳さに申上ぐると兩殿下には殊の外御滿足の體で絕えず微笑を湛へられ種々有難き御下問があつた、それで私は近日中に歸隊して此旨殿下に申上ぐる考へです、世子垠殿下の御近情は申上ぐる迄もなく非常な

▽御健康で 溽暑も十九貫餘にも達せられてゐる殿下は早朝起床ありて隊へ御出勤になると專心隊の爲めお働きになると共に兵の教育には非常な熱心と興味を有つて當られ新兵の將校頭腦學科等精細に調査の上充分の

▽成績を擧 げ得ざるも各方面から敎育の方法を講じられ著々と好果を擧げられて居る殿下は模範的新兵を作ると常に被仰つて居られる又新兵をよく愛さるゝので新兵は嬉し涙を流してよく命に服して居る御歸邸後は新兵敎育の翌週の日程表を作られ其上戰術、英語、數學の各學科を熱心に勉學されて就寢は十一時過ぎである戰術は參謀本部の山崎少佐英語は黑川士官學校教官數學は櫻井理學士に就て勉强して居られる其他何事によらず

▽御研究心 が強く御書齋の如きは殆んど書籍を以て埋められ恰も書籍庫の觀がある殿下は梨本宮方子女王殿下と御婚儀擧行後御渡鮮の儀は判然して居ないが多分花咲く三月頃との事です』

◇東宮殿下

田子の浦に ゴルフの御遊戯

沼津に御避寒中の東宮殿下には六日午前九時半御用邸御出門侍從、武官等を隨へさせ自動車を驅らせられて風光明媚なる田子の浦砂山のゴルフ遊戯場に成らせ給ひ南部外四名の出仕を御對手に第一回戰を試みさせ御晝餐後天の香久山を御遊巡高士を御覽あり午後一時より再び御遊戯あり三時御終了同五十分御用邸に還啓遊ばされたるが當日は在郷軍人會青年會員等に拜觀を許されたり

◎佛國婦人の意氣

眞劍な空氣に觸れて見たい 巴里に咲く名花＝本野清子夫人談

◇平和の光りは輝いても未だ戰後の悲壯は滿ちてゐませう◇

十四日出發の丹波丸で夫君盛一侯と共に平和の都巴里に旅立つた大和撫子の名花本野清子夫人は語る『佛蘭西は私が赤ン坊の頃から四歳ごろまで育つた思ひ出なつかしい國でございます。それに私許りか主人(盛一氏のこと)も十二三歳まで佛國に居りましたので二人のお友達も大勢ありますし、幸ひに佛國の言葉にも不自由いたしませんから大變に

△好都合 でございます何分にも急にきまりました事とて何かと忙しい思ひをして居りますが然し公式に參るのではございませんから旅裝なども成る可く手輕に荷物の數を出來る丈け少くいたし度いと思つて居ります。十何年の間、相見なかつた國の土を踏む時、そして親しいお友達に會ふ時の嬉しい心持、それにも増して思はれるのは戰ひの跡のフランス婦人の狀態であります。

△戰時に 於けるフランス婦人は、何んなに忙しい人たちでも朝は六時から夜は八時まで或は看護に、學校の敎師に、電車の車掌運轉手に至るまであらゆる方面に向つて新しい職業の途を開き至誠をつくして働きました。その婦人の中には有らゆる階級の夫人令孃方が立ち交り汚い仕事まで叮嚀親切に致しました。その結果、凱旋して兵士等が歸つた今日も

△婦人の 力によつて國民は依然とした生活をつづけ暖かな家庭の扉はより暖かく開かれてゐましたので、男子が婦人に向つての今度の感謝と尊敬の念は實に豫想以上であるとの事です。フランスの婦人は日本婦人よりももう少し自由が與へられてゐます。然し米國の婦人のやうに絕對の自由は與へられてゐません。

△自分の 事は自分でするそして嫁しては夫を助け夫の良い相談相手として子供を立派に育て上げるやう幼い時から嚴しく敎育されてゐるのです。ですから今度の戰ひの時にも婦人たちはベストを盡して國のために男子を助けて一生懸命に働きました。戰後の婦人たちの活動こそ尚一層光輝あることゝ存じます。多分

△平和の 光りは輝いても病院などにはまだ患者が滿ちてゐる事と思ひます。私は出來ることなら其フランス婦人の看護の中に交つて共に看護をし、彼地婦人の實際の意氣に觸れて見たいと考へます。で、今度の渡佛は只遊びに行くと云ふ事でなしに、さうした眞劍の空氣にふれて自分の

△修養の 助けにいたし度いと思ふのでございます。たゞ心にかゝりますのは東宮妃殿下への御敎授の事でございますが、これも急な事とて何ういたさう術もなく御許可を頂きましたやうな次第で、それにお留守をして下さる母ア樣が御淋しいでせうと……』(東京)

◎李王殿下

晴の御宴

總督以下文武高官を御招待

李王殿下に於かせられては近々御擧行の王世子殿下御婚儀の御喜びに加へて榮光饒る平和第一年の新年を祝福せらるゝ爲め恒例の新年御宴も特に盛大に執り行はせらるゝ事となり九日午後零時半より長谷川總督、山縣政務總監、宇都宮軍司令官、高島十九師團長、兒島警務總長、秋田總務局長、村田、大野、東條各武官、尹侯爵、李伯、趙副將外內鮮各高官九名を昌德宮植物本館に招待せられ洋式により盛大なる御宴を催されたるが一同 殿下の御祝福を祈り退出せるは同二時半なりき

◎帝釋山で

野獸狩

李王職員の壯擧

李王職々員より成れる後樂會は十二日京畿道鷄井驛附近の帝釋山一帶に於て閔長官國分次官を始め官員數十名の大々的野獸狩を催す事となつた一行の出發は十一日午後一時五十分南大門發列車で各自三食分の握り飯を用意する事となつて居るが山の中で焚出しをして大に腹を肥さうと云ふ連中も大分あるので御米や釜を持つて行くさうである因に一行は十二日午後七時二十五分南大門驛着列車で歸著する事になつて居るが一行の列車內は定めて獲物の山を築くであらう

◎東洋一になる南山公園

先づ其前提として訓練院を取擴げ奬忠壇に手を入れる 總工費約十萬圓! 兩方共二個年で竣成の豫定

先年本多博士によつて設計せし萬る東洋の大公園たるべき南山公園は其後屢々附設物委員會の手に掛けられて協議の結果先づ第一着手として訓練院と奬忠壇の二個所を改良する事となり目下府の

▽土木課に 於て設計及び經費等に就き詮議中であるが遲くとも三月頃迄には具體的成案を見るべく其上にて直ちに府協議會にかけ決定の上は道及び總督府に申請し今夏より工事に着手の豫定であるが先による訓練院は約三萬坪の廣場として市民の運動場に當てると共に

▽飛行機の 飛翔にも適する樣設計せらるゝ事となつて居る又奬忠壇の方は市民の遊山又は散歩に適はしい設備をなすべく櫻楓其他の樹木を內地より取寄せて配合よく植付け四時の眺望を佳くして市民の慰安場たらしむべく又訓練院と奬忠壇の間

▽四百卅間 の道路は自動車の通行に便ならしむる樣四間巾とすべく既に取掛り家屋の移轉を了した此經費は約十萬圓を要する事となりも先年總督府より下附された西大門土地其他の財源を以て其幾分を補ふ由而して右二箇所の竣成は二箇年の豫定であるが

▽竣成の曉 は漸次各所の手入れをなし本多博士最始の設計に全然合致せずとも必ず東洋一の大公園たらしむる計畫じあると

◎園侯は食料携帶

純日本料理の材料二百種 食器類は四十人前を用意

西園寺侯の乘船丹波丸は此七日迄あつたが其準備品を入れて置いた日本郵船支店の倉庫が神戸驛構內の火事の際

▽類燒した 爲め急に手當に一切の裝飾や準備を整へる筈でいふ事に豫定が變更された、尙ほ今日迄に同社支店へ通知して來た隨員は凡て十四名であるが侯爵が西園寺に滯在中其調理の役を承はる料理人として更に住友本邸の料理人松岡與三吉(五〇)及大阪灘萬の主人楠本萬藏(五九)の兩人が選ばれた、兩人は何れも日本料理を得意とするので

▽目下大阪 で一切の食料品を仕入れてゐるが食器類は四十人前を用意すべく夫々京都製造業者に註文し十日迄には調ふ筈最も苦心せるは食料品の貯藏方法にて何分洋食攝ひのものは一切廢し純日本式の料理なるより魚類野菜味噌醬油の類を

▽豐富に積 む必要あり赤道直下を航海する事こて腐敗を防ぐ萬全の方法を講すべきが醬油は罎詰味噌其他は罐詰にし其他の調理品二百餘點に及ばんと

◎其後の有馬丸

越後丸坐礁救助の爲め現場に急航の途

にありし日本海事工業所有船有馬丸(三百噸)は釜山出港北行中坐礁の如く五日午後九時頃迎日灣冬浦を距る南十二海里半長鬐沖に於て吹雪の爲め坐礁し船體各部に浸水したる急報に接するや釜山署にては直ちに電話を以て浦項及び蔚山に碇泊中の朝郵定期船を急行せしめたるが尙海事工業會社にても救助船大浦丸を遭難地に向け急行せしめ有馬丸は浸水の儘大浦丸に曳かれて釜山へ向け回航中なり(釜山)

◎大西洋を三日間で橫斷する

快艇を英國で建造 戰時中秘密にされて居た 十五吋砲と飛行機射擊砲を搭載

戰時中絕對秘密に附せられたるも英國にては一日一千浬を航走大西洋を三日間に橫斷し得る高速力を有する快艇三隻建造せられ多大の效果を奏せるが右は驅逐艇よりも遙に大型にて速力は特別試驗の結果一時間五十四浬なる事確められたり武裝は船の前後に十五吋砲及び飛行機射擊砲を備付あり其他の一切は尙秘密にされ居れりと(東京電)

◎軍樂隊演奏 第三師團司令部所屬として齊々哈爾に赴く可き第二陸軍々樂隊一行二十六名は過日來長春在中八日午後一時より長春驛一二等待合室にて軍樂隊慰問の爲め演奏を爲したるが多數の來聽者あり極めて盛況なりき(長春特電)

◎大相撲初日

取組決定

東京相撲春場所初日の取組は左の通り決定したり(東京特電)

友の浦 錦　宇都宮 大刀光　八甲山 敷島
達の矢 鬼鹿毛　御西山 大の高　大岩木 潮
釋迦嶽 矢筈山　一湊 紅葉川　綾川 藤の川
大門岩 阿蘇嶽　大の里 三杉磯　福柳 白岩
駒泉 清瀬川　宮城山 若湊　常の花 小松山
對馬洋 千葉崎　兩國 朝潮　九州山 大戶平
大錦 大鳴門　源氏山 鳳　栃木山 照瀬川

▽初日延期か 東京大相撲春場所は十日初日なるも多分雨天の爲延期されん(東京特電)

◎ポプラ倶樂部成る 警務總監部出入記者によりて組織されたるポプラ倶樂部は不日發會式を擧ぐ可し

◎三多摩郷友會 三多摩郷友會新年宴會を十二日午後五時より南山町一丁目[illegible]に於て催す由同所[illegible]新年會社[illegible]宅へ申込まれ度し

◎多田氏母堂追悼會 市內太平通一丁目多田工務所主多田三郎氏母堂は去る六月大分縣日田町に於て長逝せるが葬儀は郷里に於て營まれたるも同日午後二時より本町沙洞妙心寺にて追悼式を行ふべしと

◎故友會 京城龍山及び附近に居住せる人に依りて組織せる故友會は十二日午後五時より[illegible]に於て[illegible]の會合を催す由にて會員外の者も申込まれたしと

◇玩具の擇方

考へねばならぬ事

一口に玩具品と云へば子供には何を與へても宜いやうに思ふ方もありますが之は非常な間違ひです、例令ば幼稚園に這入りたての四五歲位の子供に組立てる建築遊びとか、組合せとか、數學遊びの

◇面倒な物 を與へると却つて餘りに複雜過ぎるので遊ぶ上に於て害があることゝなります又二三歲の子供に彩色遊びや、ゴム(インキ)印刷、熱で作用する硝子のエーテル計こか試力の藥所道具の樣な七八歲ごきの玩具を與へる場合には

◇何でも口 に持つて行き舐たり色々な遊び方をするので有害となる事が多いのであります又近頃にはゴム酸漿を飲み込んで死んださか、指輪や銅貨で大怪我をしたさいふ實例は小兒科のお醫者さんの所に隨分實例や標本があるのです

◇二三歲迄 の子供には一番危險なこミです、何でもすぐに口に入れたり舐たりする時ですから、おしやぶりなごも餘り小型な物は却つて吞み込む虞がありますす、それから冬期になつて特に注意しなければならぬのは火遊びする玩具類ち

◇花火類を 初めこしてセルロイド人形なごは一寸した間違ひから火中に落すこ爆發するやうな勢ひで燃上るのですよく小兒科の病院の看護婦が子供を抱ながら居眠りして頭のセルロイドの櫛がストーブなごに落ちて膝上の小兒に大怪我をさしたこいふ話もありますこれは餘程注意しなければなりますまい

◎猛烈な練習振り

歌留多大會を控へて 地方選手の參加申込み

十二日梅の家樓上にて開催する我社主催全鮮歌留多大會は愈々餘すところ三日に迫つた、新春の催しとして一度我社が此の企てを發表するや讚都同好者の心血は俄に沸き立つた、それは恰も

▽櫛の齒を 引くが如き參加申込が最も雄辯に事實を物語つてゐる、而も此の歌留多大會は啻に京城の選手のみの集りでなく仁川は勿論平壤、釜山、大田地方からも遙々我社支局を通じて參加を申込んで來ると云ふ有樣である一方市內に於ける情勢如何こ見るに

▽全鮮に覇 を唱へた龍山稻葉氏の率ゐる巖松組は强敵かさゝぎ、みよしの、美矢飛の各選手連を粉碎せんと日夜練習怠りなく印刷局側の革會、鮮銀團の二葉會等それ〲練習戰に夜の更け行くも知らざる意氣込である又

▽美矢飛會 一派二十五名の選手連は新戰の谷口氏を首將に古江、村田、白石、松浦、相馬、岩田、岡本、久木田、三戶の諸將が武者振り勇ましく晴の大戰に天晴れの荒武者振りを發揮せんと非常なるモーションを出してゐるを當日の盛況が思ひ遣られるではないか

來れ選手諸君!!

全鮮歌留多大會

◇會場 京城梅之家樓上
◇期日 一月十二日午前九時開始
◇會費 金五十錢(中食を供す)
◇會員 男女巧拙を問はず出席歡迎
◇賞品 壹等本社金牌(十八金)下金ピン其他
◇副賞品 壹等より廿等迄副賞品澤山

主催 京城日報社

母と子(七十四)

北島春石作　森田久畫

密談(二)

女中さへも遠ざけて兩人は密談。それにしても、今からでは時間が早すぎるので、切めて日の暮れるまではと、改めて廣間へ席を移した後、二三人の藝者を呼ぶ事にした。

最初は如何にも憫れ切つて、碌に盃もさらなかつた朔平も、だん〲、腹へ酒が沁込んで來るこ、特有の遊びずきを發揮して、飲めや唄へと調子づき、禿た鉢卷きのたがを顔め、長襦袢一枚で十八番のステヽコを踊り出す大陽氣。一つは自棄か手傳ひもして居るだらうが、雅已にはそれが苦々しくも思はれた。

彼は默つて盃のみをあけてゐた。

恁うして三時間ほど經つと、招魂社の境內に暮れせまつて、街路燈の窓に清く白熱瓦斯が輝き出した。

雅已は、疲れてグタ〲になりつゝ朔平を搖り起す。

『高杉さん、もう約束の時間になりましたぞ。』

『へい、もう日が暮れましたかい。』と、吃驚したやうに眼をさまし『これや飛んだ御迷惑をかけましたな。』

『例の一件を斷行するに就て、貴方が確りしてくれんこ困るのだ。』

『いや大丈夫で!』と、俄に角帶を締直し、朔平はもう醉つた樣子も見せなかつた『こゝから澁谷までは電車ぢや時間がかゝる……自動車で乘込むとしませうかな。』

『無論、さうしなければ、先方へ乘込んで不便だから。』

女中が心得て立つた後、元の薄暗い面目さに返つた兩人は、再び顔を鳩めて熱心に密議を凝したが、やがて、お供がまゐりましたとの知らせに勘定を濟ませて階下へと降りて行く。

自動車は城外へ横着けされてゐた。

賑やかな女中達の聲におくられた。

兩人が自動車へ乘移るこ、

『どちらへ?』と運轉手が聞く。

朔平は車窓から顔を出して、

『澁谷までやつてくれ。』と言つたが、ふいにそこの横丁から立出でた職人の一群に氣が就くこ、俄に雨を食らつた蝸牛のやうに慌て首を引込めた。

『岸上さん……惡い奴に見つかりましたぜ。』

『誰です?』

『貴方もお忘れぢやあるまいが、森泉の爺が片腕と頼む植惣……彼奴に偶然と顔を見られたんで。』

『これ!何處に。』

雅已も吩からず打ち驚いて、硝子ごしに窓外を窺見したが、もう自動車が搖ぎ出でた後で、それらしい人影も認められなかつた。

けれご、醉眼ながらもさすがに朔平であつた。今朝、植惣は三人の弟子を連れこの附近のお邸まで仕事に來て、今しも夕風に吹かれながらの戾りがけ、何の氣もなく耳に入つた澁谷までの一言。自分が住でゐる土地だけ澁谷こ言はれて自動車に目を遣ればその禿頭を毆りつけへ覺ゐがあるので確かに高橋朔平。

『奇怪な!』と思案の腕ぐみ、彼の自動車の行方を見送つた。

『何うなすつたんで?親方。』

さりとも知らず、弟子の一人が聲をかけるこ、植惣は急にせかく歩き出した。

『おい!今日は寄道せずこ眞直に歸らうぜ、今ふいこ嫌なものを見かけたんで、何だか我家が氣がゝりになつて來た。』

『へゝ、通り魔でも見たんですかい。』

『何でもいゝから早く歩みねえ。』

『ちや、約束のぱい一ぱいはお流れか。』

『畜生め!金持ちがり張るな。』と、九段上なる電車の乘場を指して、植惣は未だ思案の腕組みも解かず急ぎ足。

京城の名物(京城南大門通三) カフエータイガーの洋食ときき燒

電話賣買 京城明治町一丁目 萬年社 電話一八四四番

牛乳 御用 京城東四軒町 [illegible]野牧場 電話一〇六九番

新刊紹介(到著順)

▲或る脚本家(武者小路實篤著) 或る脚本家(創作)と四人(脚本)二篇を收む著者獨特の文章にて諸問題に當り流した面白い著作で讀み終つて何んとなく人間の深い本である事を附記して置きたい(一圓五十錢、東京[illegible]文社)

故鈴木校長弔慰及奬學資金寄贈芳名

(第二十四回)

一金六圓拾四錢 咸鏡北道咸興公立普通學校職員生徒一同
一金七圓六錢 同 有志
一金五圓 初音町七六 長鼎仙右衞門
一金一圓 井上誠一
一金貳圓 京城稅關出張所 黑部貢一
一金一圓 野崎廉平
一金一圓 隆井時見
一金一圓 西川藤八
一金一圓 香島隆次郎
一金一圓 黑木嘉熊
一金一圓 杉山[illegible]
一金一圓 宮原[illegible]
一金一圓 櫻井潔
一金一圓 神野是
一金一圓 西尾巽
一金五十錢 平山高美
同 堀喜[illegible]
同 早川愼吾
同 土屋滿治
同 中村好武
同 稅田久八郎
同 內山武夫
同 磯谷博
一金一拾圓 南大門通一丁目 北村貞太郎
一金三圓 龍山漢江通八番地 望月勉
一金一圓宛 秋山精之 佐々木ハル 上田直次郎 島田忠作 佐原庄一 久保森平
一金一拾五錢宛 石本若松 齋藤高次郎 赤松善治
一金五拾錢 高取權六
一金二拾五錢 合資會社福壽洋行 竹谷善作
一金五圓 同 中山安藏
一金五十錢 同 安藤市三
一金二十五錢 同 最所善作
一金同 同 藤田庄三郎
一金五十錢 同 晶田又助
一金同 同 永洞仟八
一金二十五錢 同 春木末吉
一金同 同 大谷吉太郎
一金一圓 同 相川[illegible]五郎
一金七十五錢 同 吉本喜作
一金十五錢 同 高橋[illegible]藏
一金五圓 同 石原[illegible]次郎
一金五圓 同 鳥居金之助
一金十錢宛 山木兵太郎 八木末太郎 仁科義太郎 杉原忠太郎
一金二十錢 同 砂田清武
一金一圓 同 中西三樹夫
一金五十錢 同 金子倉松
一金二十錢 同 難波藤太郎
一金二十錢 同 井川松之助
一金五十錢 同 太田壽雄
一金五十錢宛 同 蒲原嘉津太 袴田翠吉 山口安之助 川上ココ 竹井スエ 大野高市
一金五十錢 同 內田元次郎
一金五十錢 同 服部市藏
一金二圓 同 吉岡新吉
一金五十錢 同 原幸雄
一金三十錢 同 寒河江孝之助
一金三十錢 同 [illegible]吟平
一金三十錢 同 香掛孝
一金三十錢 同 川上清
一金三十錢 同 中木政一
一金二圓 同 今井修一
一金二十錢 同 八木モト
一金二十錢 同 木之下市
同拾參番地 原志賀治
同 杉本シナ
同 西山要藏
同 江口又三郎
同 小倉千吉
同 光田三一
同 松島祭子
同 高野直二
同 森才夫
同 青木喜一郎
同 今井秀市
同 逸見美代太
同 八塚德造
同 大手船太郎
同 辰巳吉之助
同 澤入愛助
同 上糸桂介
(以下次號)

[illegible]は大刀山が[illegible]の時に中の最低[illegible]などはまだ[illegible]行司は立行司の庄之助が卅五圓でそれから伊之助、朝之助、與太夫、勘太夫、[illegible]

神戸期米特電 [illegible]
大阪 [illegible]

◎獨今後の政局 尚ほ安心ならず

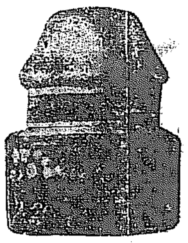
[illegible]超運動さに挾擊せられ一時は形勢頗る危かりしが既報の如く過激社會黨大臣の[illegible]を以て[illegible]の[illegible]望しある事を表示し二十九日伯林市内に反對派二派の示威運動行列ありエベルト派の行列に參加せる[illegible]られあり若し此[illegible]議の召集迄無事[illegible]

棒 舊臘二十七日

[illegible]嬬妓若梅[illegible]るが程經て前娼若梅は自己所有女持金時計(價格九十圓)を盗まれ居[illegible]前科二犯山形縣生れの奥山孝三郎(三)と自白したるが曾て大邱にて[illegible]

桃谷研究試驗所創製

謹みて新年の御挨拶申上候



生れつき色が白いやうな白さに附く

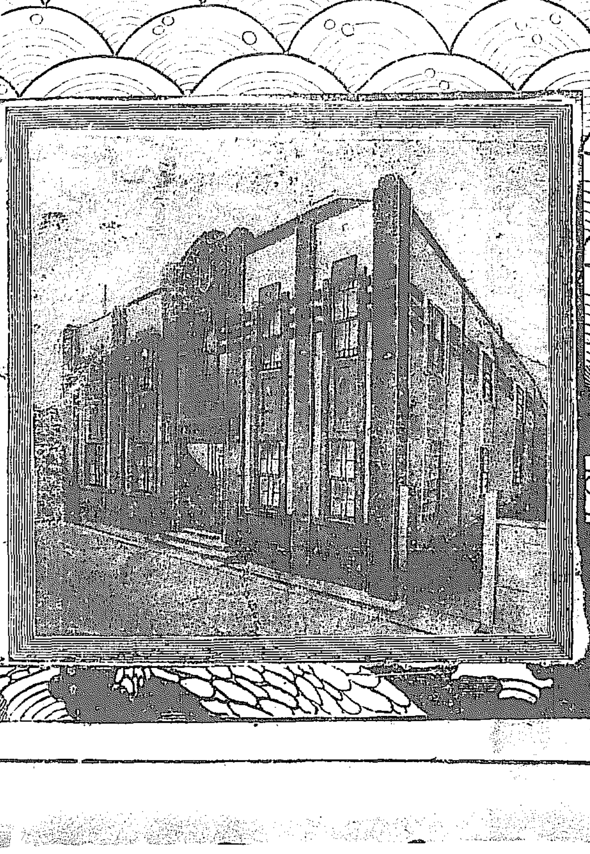
美顏白粉

美顏御化粧料三十六種の內

寶船

■光榮ある御化粧料三十六種を創製したる

桃谷研究試驗所



△所長 藥學士 桃谷幹次郎
△技師 理學士 西澤勇志智
△同 醫學士 藥學士 米倉昌達
△同 千葉藥學士 小磯勝次郎
△同 同 藥學士 齋藤鋭助
△顧問 藥學博士 丹波敬三氏 醫學博士 山本淳二氏